

# リアホサ

愛——清い信心の真髄、  
4, 14ページ


信教の自由——  
公正のメッセージ、22ページ

自殺したいという思いに  
わたしがどのように打ち勝ったか、  
30ページ

ワード評議会——  
家族を祝福するための主の道具、  
34ページ







「したがって、あなたがたは  
これからもキリストを  
確固として信じ、  
完全な希望の輝きを持ち、  
神とすべての人を愛して  
力強く進まなければ  
ならない。  
そして、キリストの言葉を  
よく味わいながら  
力強く進み、  
最後まで堪え忍ぶならば、  
見よ、御父は、  
『あなたがたは永遠の命を  
受ける』と言われる。」

メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——  
愛の後に何が必要でしょうか  
ディーター・F・ウークトドルフ管長
- 7 家庭訪問メッセージ——  
親の神聖な義務

特集

- 14 清い信心を实践する  
ドン・R・クラーク長老  
清い信心を实践することで救い主を  
愛することを学びましょう。

- 20 什分の<sup>じゅうぶん</sup>一とタイミングと車  
アティリオ・コイティニーニョ・グズマン  
什分の一のお金を使わない限り、教会へ行くための交通費はありませんでした。

- 22 信仰、公正、そして信教の自由  
ロナルド・A・ラズバンド長老  
公正の精神をもって他の人々に手を差し伸べることにより、あなたは、救い主のあなたへの愛と人々への愛を感じることでしょ。

- 30 生きることを選択する——  
自殺したいという思いに打ち勝つ  
匿名  
世の光である御方の助けにより、わたしは季節性うつという闇を通り抜けることができました。

- 34 「わたしの名によって集まる」  
ジェーコブ・R・ジョーンズ  
あるワード評議会の、啓示を求め、愛によって行動する努力が結んだ実を見てください。

シリーズ

- 8 2016年4月の大会ノート
- 10 熟考——  
メーベル姉妹の歌声  
R・バル・ジョンソン
- 11 教会での奉仕——奉仕の祝福  
ジョン・A・グリーンセリ
- 12 わたしたちの家庭、わたしたちの家族——  
双子を妊娠し、奇跡を見る  
チェリル・ラパティンラ・トーレ
- 40 末日聖徒の声
- 80 また会う日まで——  
シオンの大きなつますきの石

22



表紙  
表紙——「多くの人々を癒やされた」の一部、  
J・カーク・リチャーズ画  
表紙裏——写真/フィリップ・クリンガー  
©Getty Images  
裏表紙裏——写真/レス・ニルソン

44



**44 中立地帯は存在しない ——**  
**メディアがわたしたちに及ぼす影響**  
 エイシア・タン  
 メディアはわたしたちに影響を及ぼします —— 良い影響か悪い影響のどちらかを。


**48 ヤングアダルトのプロフィール ——**  
**オーストラリアで王国を建てる**  
 ベン・ロビンソン  
 聴覚障がい、キャラン・ブルックスがオーストラリアで主の業を速めるのを止めることはできませんでした。

- 50 伝道地から ——**  
**レベッカのところに行ってみましょう**  
 ミンディー・レイ・フリードマン
- 52 ポスター —— 光に目を向けよう**
- 53 そこが知りたい**  
 忠実であることが難しいですか。預言者に対して疑問がありますか。
- 54 裁縫クラスと2度目の機会**  
 ベレン・チャパーロ  
 ピアノの先生に福音を分かち合う機会を逃してしまったあと、わたしは2度目の機会を逃すことはできないと分かっていました。
- 56 戒め = 愛**  
 シャーロット・ラーカバル  
 戒めは愛とどう関係するのでしょうか。
- 58 わたしはこのようにして知りました ——**  
**なぜモルモン書なのでしょう**  
 エルビン・ジェローム・ラケダ
- 60 神の言葉により強められる**  
 崔崙煥長老  
 聖文を学び預言者に従うことが、人生で大きな決断をするのを助けてくれました。
- 63 教会指導者からの答え ——**  
**感謝を示す方法**  
 ロバート・D・ヘイルズ長老
- 64 わたしたちのスペース**



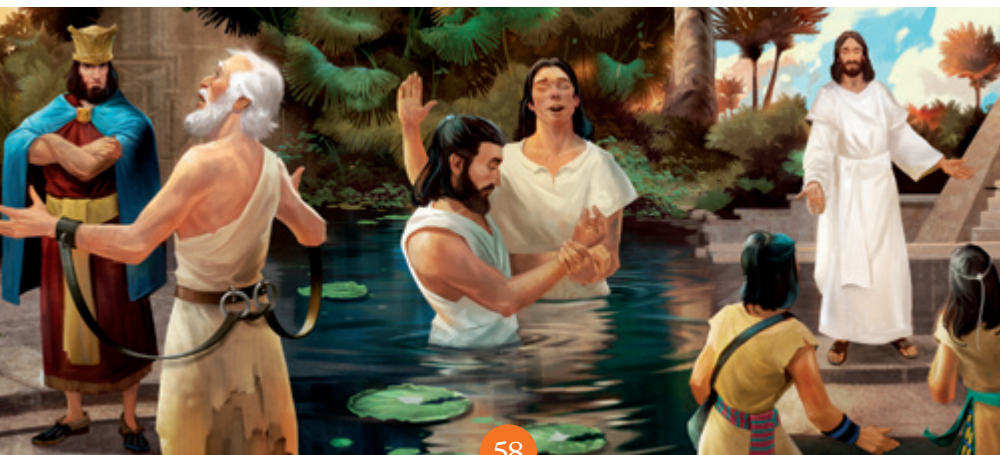
65

- 65 どの道を選ぶか**  
 アビー・F  
 いじめられていても、イエスにしたがうことが最善の道でした。
- 66 あなたのいのりを天のお父様は聞いてくださいます**  
 ニール・F・マリオット  
 わたしたちは人生で助けが必要です。そして天のお父様はその助けをわたしたちににあたえたいと思っておられるのです。
- 68 しっかりと立つ子供たち ——**  
**宣教師になる**  
 ジェナ・コフォード  
 ジェシは学校のレポートでユタ州を選ぶことで、福音を分かち合いました。
- 70 エリーゼのために**  
 メリリー・ブーレン  
 ダニエルがどうやって妹のエリーゼにイライラするのをやめて愛をしめしたか見てみましょう。
- 72 使徒からの答え ——**  
**なぜ救い主のあがないは、大切なのでしょう**  
 ダリン・H・オークス長老
- 73 わたしたちのページ**
- 74 イエスは全ての人を愛しておられる**
- 75 わたしはモルモン書を読むことができます**
- 76 モルモン書物語 ——**  
**ニーファイ人をおとすられたイエス**
- 79 色をぬりましょう**  
 わたしは家族を助けることができます



こんげつごう なか かく  
 今月号の中に隠れている  
 リアホナを捜しましょう。

ヒント ——  
 どうしたら宣教師になれるでしょうか。



58



# 家庭の夕べのためのアイデア

この機関誌には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に二つの例を挙げます。



「戒め=愛」56 ページ——親であるあなたに従いたくないと思ったときのことについて子供に尋ねるとよいでしょう。例えば、交通量の多い道で遊んだり、ある特定の時間に就寝する、といったことが挙がるかもしれません。あなたがそれらの指示を与えるのはなぜだと思か尋ねます(子供を愛しているから)。次に、記事を参考にして、この原則を天の御父から与えられている戒めに当てはめるとよいでしょう。天の御父は、わたしたちを愛しておられ、戒めがわたしたちを守ってくれることを御存じだからこそ、戒めをお与えになるとい

うことを説明します。わたしたちは戒めを守ることにより天の御父に愛を示すことができます。

「エリーゼのために」70 ページ——この記事には、ダニエルという少年が、体に障がいのある妹を愛しながらも時折いらいちを覚えるという体験が記されています。子供とこの記事を読み、ダニエルが妹にどのように愛を示したかを尋ねます。そして、ダニエルの例に倣って家族が愛を示し合うにはどうすればよいかを考えてみるとよいでしょう。

## インターネットで得られる追加情報

[languages.lds.org](http://languages.lds.org) で、「リアホナ」や教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。靈感あふれるメッセージや家庭の夕べのアイデア、友達や家族と分かち合える内容を見つけるために、[Facebook.com/liahona.magazine](http://Facebook.com/liahona.magazine) (英語・ポルトガル語・スペイン語) をご覧ください

## 今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

- 愛, 4, 56, 66, 70, 74
- 献身, 10
- 証, 58
- 高慢, 80
- イエス・キリスト, 4, 22, 30, 65,
- 72, 74
- 従順, 4, 53, 56, 60
- いじめ, 65
- 祈り, 66
- 自分の, 20
- 罪, 72
- 戒め, 4, 56
- 試練, 12, 40, 64
- うつ病, 30
- 信教の自由, 22
- 親の務め, 7
- 信仰, 11, 22, 48
- 家族, 7, 12, 79
- 感謝, 63
- 希望, 52
- 進歩, 40
- 聖文研究, 60
- 聖霊, 41
- 前世, 53
- セミナリー, 60
- テクノロジー, 44
- 伝道活動, 42, 43, 48, 54, 68
- 光, 30, 52
- 評議会, 34
- 奉仕, 11, 41, 79
- 召し, 11, 34
- メディア, 44
- モルモン書, 54, 58, 74, 75, 76
- 預言者に従う, 53, 60



大管長会第二顧問  
ディーター・F・  
ウークトドルフ管長

# 愛の後に 何が必要でしょうか

**わ** たしたちの愛する預言者トーマス・S・モンソン大管長は、「愛はまさに福音の真髄であ[る]」と教えています。<sup>1</sup>

愛は、イエスが「いちばん大切な、第一のいましめである」と明言し、律法の他の部分全てと預言者の言葉がそれにかかっているとされたほど大切なものです。<sup>2</sup>

愛はわたしたちが教会で行う全てのことの原動力です。イエス・キリストの弟子としてわたしたちが携わる全てのプログラム、全ての集会、全ての行いは、この特質から生じるべきです。なぜなら、「キリストの純粋な愛」である慈愛がなければ、わたしたちは何の価値もないからです。<sup>3</sup>

このことをわたしたちの思いと心で理解し、神と同胞<sup>はらから</sup>に対する愛を表明したら、その後何が必要なのでしょう。

人に対する哀れみと愛を感じるだけで十分でしょうか。神と隣人への愛を表明するだけで、神に対する義務は果たされるのでしょうか。

## 二人の息子のたとえ話

エルサレムの神殿で、ユダヤ人の祭司長と長老たちがイエスに近づき、イエスの言葉じりを捉えてわなにかけようとなりました。しかし、救い主は彼らに一つの物語を語ることで形勢を逆転されました。

「ある人にふたりの子があった」と主は語り始められました。その父親は最初の息子のところに行き、ぶどう園へ行って働いてくれるように頼みました。しかしその息子は断りました。その後その息子は「心を変えて、出かけ[ました]。』

父親はそれから2番目の息子のところに行き、ぶどう園へ行って働いてくれるように頼みました。その息子は行くことを約束しましたが、決して行きませんでした。

それから救い主は、祭司長と長老たちに向かい、「このふたりのうち、どちらが父の望みどおりにしたのか」とお尋ねになりました。

彼らは、行かないと言った後に悔い改めてぶどう園に行った最初の息子であることを認めざるを得ませんでした。<sup>4</sup>

救い主は、この物語を使って大切な原則を強調されました。それは、戒めに従う人が本当に神を愛している人であるということです。

パリサイ人や律法学者の言葉に聞き従っても彼らの模範には従ってはならないとイエスが人々に求められたのは、おそらくこのためでしょう。<sup>5</sup> これらの宗教の教師たちは、自分が教えたことを実践していませんでした。好んで宗教について語りましたが、悲しいことに、その真髄を見失っていたのです。

## 行いと救い

御自分の弟子に対する最後の教えの中で、救い主は最後の裁きについて話されました。悪人と義人が分けられる話です。善人は永遠の命を受け継ぎ、悪人は引き渡されて永遠の罰を受けるのです。

この二つのグループの違いは何だったのでしょうか。

自分の愛を行いによって示した人は救われ、そうしなかった人は罪の宣告を受けたのです。<sup>6</sup> イエス・キリストの福音とその価値と原則に対する真の改心は、わたしたちの日々の生活における行いによって証明されます。

結局のところ、神と同胞に対する愛を単に言葉で表すことがわたしたちを昇栄にふさわしいとするものではありません。というのは、イエスが教えられたように、「わたしにむかって『主よ、主よ』と言う者が、みな天国に入るのではなく、ただ、





天にいますわが父の御旨<sup>みむね</sup>を行う者だけがはいる」からなのです。<sup>7</sup>

### 愛の後に何が必要でしょうか

「愛の後に何が必要でしょうか」という質問に対する答えは簡潔かつ明確です。真に救い主を愛するなら、わたしたちは心を主に向け、その後、弟子の道を歩きます。神を愛するとき、神の戒めを守ろうと一生懸命に努め

るでしょう。<sup>8</sup>

真に同胞を愛するなら、「貧しい者と乏しい者、病気の者と苦しんでいる者」を助けるために最大限の努力をすることははずです。<sup>9</sup> このような私心のない哀れみと奉仕の行いをする人こそ、<sup>10</sup> イエス・キリストの弟子だからです。

これが愛の後に必要なことです。

これがイエス・キリストの福音の真髄なのです。■

### 注

1. トーマス・S・モンソン「愛——福音の真髄」『リアホナ』2014年5月号, 91
2. マタイ 22: 36 - 40 参照
3. モロナイ 7: 46 - 47 参照
4. マタイ 21: 28 - 32 参照
5. マタイ 23: 3 参照
6. マタイ 25: 31 - 46 参照
7. マタイ 7: 21
8. ヨハネ 14: 15 参照
9. 教義と聖約 52: 40
10. モーサヤ 18: 8 - 9 参照

### このメッセージから教える

**ウ**ークトドルフ管長は、行いを通して神と人に対する愛を示す人をイエス・キリストの真の弟子と定義しました。ウークトドルフ管長は、「真に救い主を愛するなら、わたしたちは心を主に向け、その後、弟子の道を歩きます」と教えています。弟子の道を歩くために愛がどのように動機づけになったか、あなたが教える人に尋ねるとよいかもしれません。同じように、あなたの経験を彼らと分かち合うこともできます。愛の心で行うためにさらに慈愛と強さが得られるように祈ることを勧めてもよいでしょう。

## 戒めを守り、人を愛する

**愛**について考えるとき最初に心に思い浮かべるのは、往々にして恋愛映画やチョコレートや花束などです。しかし、愛、しかも真の愛は、それよりもずっと深く、私心の無いものです。イエス・キリストはわたしたちを愛していたので、わたしたちのために生涯を送られ、わたしたちのために亡くなられました。実際、二つの大切な戒めは、神を愛し、全ての人を愛することです（マタイ 22：36－40 参照）。しかし、どうしたら愛していることを人に示すことができるのでしょうか。

ウークトドルフ管長は、二人の息子のたとえを分かち合っています。一人の息子は父親のために働き、もう一人の息子はそうしませんでした。救い主は、父親に従った息子だけが本当に父親を愛していたと強調しておられます。同じように、わたし



たちが神の戒めに従うとき、神を愛し、神のもとに帰りたいということを示しています。

しかし、どうしたら全ての人を愛していることを示せるのでしょうか。ウークトドルフ管長は次のように説明しています。「わたしたちが真に同胞を愛するなら、『貧しい者と乏しい者、病気の者と苦しんでいる者』を助けるために最大限の努力をするはずで、このような私心の無い哀れみと奉仕の行いをする人こそ、イエス・キリストの弟子だからです。」

そこで、この次にあなたの親やきょうだい、または友達と会うとき、彼らへの愛を示すために彼らに奉仕することについて考えてみてください。それは彼らやあなたを幸せにするだけでなく、天におられる御父にも喜んでいただけることなのです。

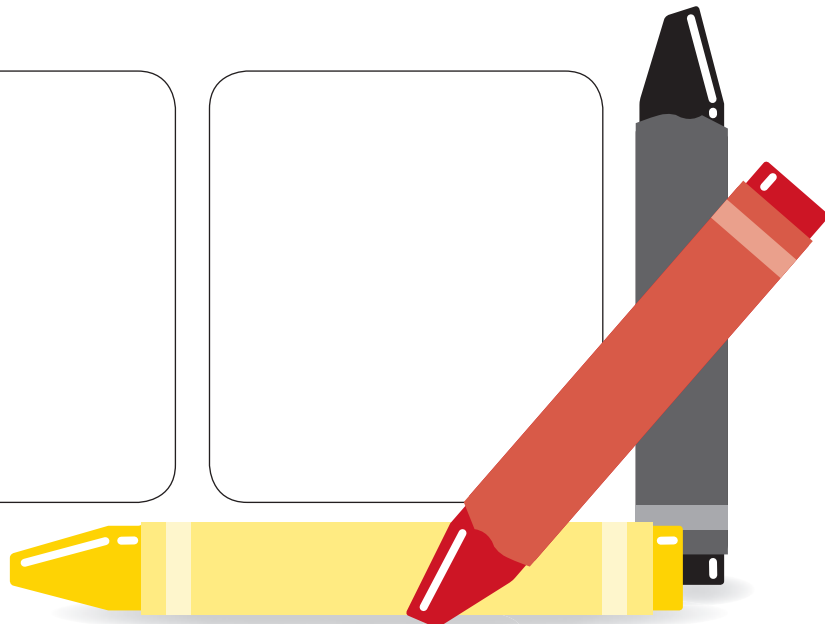
## 子供

### 愛をしめす

イエスは、父親とその二人の息子の物語を話されました。父親はぶどう園で仕事をし、二人の息子に手伝ってくれるようにたのみました。最初の息子ははじめに「いいえ」と言いましたが、後でぶどう園に手伝いに来ました。2番目の息子は手伝うと言ったのに、来ませんでした。イエスは、最初の息子は従順になることに

よって父親に対する愛をしめしたと教えられました。

この物語をげきにしてみましょ！それから、天のお父様に対する愛をしめすために自分ができることを3つ書くか、絵にしてください。





よく祈りながらこの資料を学び、何を伝えるべきか分かるよう靈感を求めてください。  
「家族——世界への宣言」を理解することは、神を信じるあなたの信仰をどのように増し、  
家庭訪問を通してあなたが見守っている姉妹をどのように祝福するでしょうか。  
詳しくは [lds.org/callings/relief-society?lang=jpn](http://lds.org/callings/relief-society?lang=jpn) をご覧ください。

## 親の神聖な義務

天の御父は、愛に満ちた雰囲気の中で人に正しい原則を教えられるよう、家族を定められました。トーマス・S・モンソン大管長はこう言っています。「子供を褒め、抱き締め、『愛している』と繰り返し言い、常に感謝の気持ちを示してください。愛すべき人ではなく、解決すべき問題の方を重要視するようなことのないようにしてください。」<sup>1</sup>

スーザン・W・タナー元中央若い女性会長は、こう教えました。「天の御父はわたしたちが倣うべき模範を示してくださいました。御父はわたしたちを愛し、教え、忍耐し、信頼して選択の自由を与えてくださっています。……『しつめる』とは『教える』という意味なのに、批判と混同されることがあります。年齢を問わず誰でもそうですが、子供たちは、あら探しよりも、愛と励ましによって行動を改めるのです。」<sup>2</sup>

十二使徒定員会のクエンティン・



L・クック長老は次のように言っています。「わたしたちが忠実に家族の祈り、聖文研究、家庭の夕べ、神権の祝福、安息日を守ることを実践すれば、子供たちは、……この困難な世界で自分に何が起ころうと、天に戻って永遠の家庭に住む備えができるのです。」<sup>3</sup>

### その他の聖句

1 ニーファイ 8 : 37 ; 3 ニーファイ 22 : 13 ; 教義と聖約 93 : 40 ; 121 : 41

### 考えてみましょう

福音は、愛ある言葉と愛のある模範によって教えるのが一番良いのはなぜでしょうか。

#### 注

1. トーマス・S・モンソン大管長「家庭の愛——わたしたちの預言者からの勧告」『リアホナ』2011年8月号、4参照
2. スーザン・W・タナー「わたしはあなたに話したでしょうか……」『リアホナ』2003年5月号、74参照
3. クエンティン・L・クック「主は光」『リアホナ』2015年5月号、64参照
4. ロバート・D・ヘイルズ「神に対するわたしたちの義務——次の世代に対する親と指導者の使命」『リアホナ』2010年5月号、96、95参照

信仰・家族・扶助



### 現代の人々の経験から

十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老は次のように言っています。「わたしが新聞を読んでいると、幼い孫が横にぴたりくっついて座りました。わたしは読みながら、ぺちゃくちゃと何か言い続けるかわいい声を楽しんでいました。驚いたことに、しばらくすると、孫はわたしと新聞の間に強引に入ってきたのです。そして、両手でわたしの顔を挟み、鼻をわたしの鼻に押し付けて、『おじいちゃん、本当にそこにいるの?』と言いました。

……そこにいるとは、若人の気持ちを理解し、若人とつながるという意味です。若人とつながるとは、単に言葉を交わすという意味ではなく、何かを一緒にするということでもあります。……

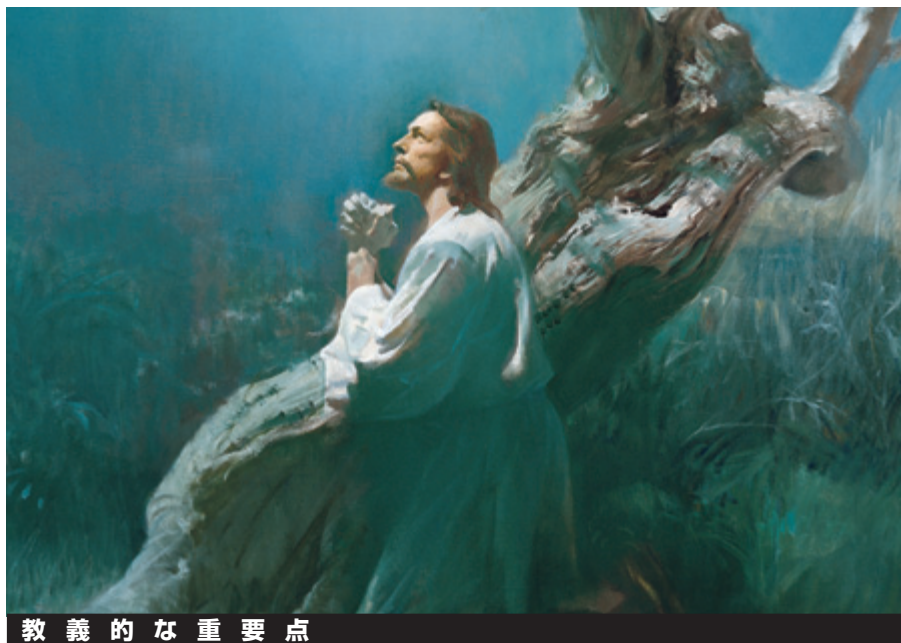
『教えるひととき』を計画し、うまく使わなければなりません。……

年を重ねるごとに実感するのは、わたしの人生を形成し、今のわたしを作ってくれたのは、若い頃の『教えるひととき』、特に両親が作ってくれたひとときだったということです。」<sup>4</sup>

# 2016年4月の大会ノート

「主なるわたしが語ったことは、わたしが語ったのであ〔る。〕……  
わたし自身の声によろうと、わたしの僕たちの声によろうと、それは同じである。」  
(教義と聖約1:38)

2016年4月の総大会を振り返る際に、このページ(および今後の大会ノート)を使って、生ける預言者と使徒、他の教会指導者が語った最近の教えを学び、生活に取り入れることができます。



教義的な重要点

## イエス・キリストの贖罪<sup>しよくざい</sup>

「わたしはこう断言することができます。イエス・キリストの贖罪のゆえに、永遠の見地から見ると、究極的には、全てのことに不公平などというものは存在しません。『人生の中で経験するすべての不公平なことは、イエス・キリストの贖いによって正されるのです。』『わたしの福音を宣べ伝えなさい』52] わたしたちの現状は変わらないかもしれませんが、神の哀れみ、思いやり、愛を通して、わたしたちは皆、自らのふさわしさ以上のもの、自らが得られる以上のもの、そして、自らが願い求める以上のものを受けること<sup>まっ</sup>でしょう。わたしたちはこう約束されています。『〔神がわたしたち〕の目から涙を全くぬぐい<sup>まっ</sup>とって下さる。もはや、死もなく、悲しみも、叫びも、痛みもない。先のものが、すでに過ぎ去ったからである。』〔黙示21:4〕」

十二使徒定員会 デール・G・レンランド長老  
「わたしはすべての人をわたしのもとに引き寄せた」『リアホナ』2016年5月号, 42

## あなたのための 答え

各大会で、預言者と使徒は教会員が抱くかもしれない疑問に靈感を受けて答えています。それらの疑問への答えを見つけるには、『リアホナ』2016年5月号を読むか、lds.org/general-conference?lang=jpn にアクセスしてください。

- 家族評議会の4つの種類とは何でしょう。それらはなぜ大切なのでしょう。——M・ラッセル・バラード「家族評議会」63 参照
- どのようにして神殿に備えますか。——クエンティン・L・クック「神殿の中の自分の姿を見る」97 参照
- 神権の鍵とは何でしょうか。——ゲーリー・E・スティープンソン「神権の鍵と権能はどこにあるのでしょうか」29 参照

「疑いよりも  
信仰を選んでいくのです。」

中央若い女性会長  
ボニー・L・オスカーソン  
「わたしは信じているだろうか」  
『リアホナ』2016年5月号, 89

総大会の説教を読んだり、見たり、聴いたりするには、  
[lds.org/general-conference?lang=jpn](https://www.lds.org/general-conference?lang=jpn) に  
アクセスしてください。





## 救助

「この地上において、……この世界のちりと汚れがわたしたちを汚し、自分の生得権と目的を認識し思い出すのを阻みます。

しかし、その全てをもってしても、わたしたちが本来何者であるかを変えることはできません。わたしたちに本来備わっている基本的な神性は残ります。……

人生が台なしになってしまったと感じている人や罪を犯した人、恐れや怒り、悲しみを感じたり、疑いに苦しんだりしている人がいるかもしれせん。しかし、良い羊飼いが迷い出た羊を探し出されるように、皆さんが心を世の救い主に向けるならば、主は皆さんを見つけてくださいます。

主は皆さんを救助して下さいます。

主は皆さんを抱き上げて御自分の肩に乗せて下さいます。

主は皆さんを家に連れ帰って下さいます。」

大管長会第二顧問 ディーター・F・ウークトドルフ管長  
「主はあなたを肩に乗せて家に連れ帰って下さるでしょう」  
『リアホナ』2016年5月号, 104

## 将来の役割

**同**じテーマで複数の話者が話すことがしばしばあります。3人の話者が、将来の役割に備えることについて語ったことを次に挙げます。

- 「若い男性に申し上げます。……男性として、将来皆さんの結婚生活や子供たちに清さをもたらすことができるような生活をしてください。」——D・トッド・クリストファーソン「父親」96
- 「皆さんが近隣、地域社会に暮らす難民に奉仕するため、時間や状況に応じて自分にできることを祈りをもって決め[てください。]」——リンダ・K・パートン「わたしが旅人であったときに」14
- 「神の幸福の計画においてすべきことは、完璧な相手を探すことよりも、愛にあふれた、永続する、より完全な関係を、生涯をかけて、ともに助け合って育ていける相手を探すこと……です。」——ディーター・F・ウークトドルフ「救う人々をたたえ」78

## 大会で話されたすばらしい物語

物語以上にわたしたちの心を引くものがあるでしょうか。以下は、総大会で話された多くの物語です。

- 亡くした幼い息子と結び固められることを切望していた南アメリカの夫婦を慰めたのはどの教義だったでしょうか。——W・クリストファー・ワデル「平安を得るパターン」90 参照
- 危篤状態の幼い息子とともにヘリコプターでプライマリー・チルドレンズ病院に向かった母親は何に気づいたでしょうか。——ボニー・L・オスカーソン「わたしは信じているだろうか」87 参照
- 祭司定員会の指導者はどのようにして祭司の一人を教会に連れ戻したでしょうか。——マービン・B・アーノルド「救助に向かう——わたしたち是可以します」53 参照



# メーベル姉妹の歌声

教会機関誌  
R・バル・ジョンソン

メーベル姉妹の歌にける情熱は、痛々しいほどに、とどまるところを知りませんでした。

**親**友はわたしの笑いを止めようと、脇<sup>ひし</sup>を肘<sup>ひじ</sup>でこづいてきました。何しろ、聖餐<sup>せいさん</sup>会で聖餐の賛美歌を歌っていたのですから。

でも、笑わないではいられませんでしたが。パットもうまく笑いをこらえられてはいませんでした。

わたしたちは当時15歳で、何でも知っていました。ワードのみんなは完全であるはずなのに、そうではないことを知っていました。霊的に鼓舞されるはずの聖餐会の話の大半は退屈だということも知っていました。また、世界で一番歌の下手な人が一緒に座っていて、この人のおかげで、思いを天に向けてくれるはずの賛美歌が台なしになり、皆の思いが別の方に向いてしまうことも知っていました。

わたしたちは耳を手で覆って顔をゆがめるしかありませんでした。時折笑うと少し気が紛れるような気がしました。

メーベル姉妹(彼女の名前。誰もがそう呼んでいたと記憶しています)が、自分の歌声が聴くに堪えないことを知りながら気に留めなかったのか、それとも周りに与える影響を重々承知していたのか、定かではありません。誰もその話題を彼女の前で持ち出さなかった可能性は大いにあります。彼女は高齢でしたが、強烈な女性で

した。体格ではなく、活力の点においてです。何をすることも声を張り上げながらエネルギーギッシュに行うのでした。特に歌うときはそうです。

彼女の歌への情熱は、集会中に皆と歌うときだけではなく、ワードの聖歌隊でも発揮されました。そのような場での情熱はとどまるところを知りませんでした。会衆と一緒に歌うときに歌声を抑えていた記憶はありませんが、聖歌隊ではさらに威勢よく、高音から低音まで、世界中のどんな歌姫も出したことのないであろう、または出そうと願ったこともないであろう音域の歌声を張り上げるのでした。

さて、これはずっと前の話です。その後メーベル姉妹は亡くなり、パットと



わたしは別々の人生を歩みました。そして、少なくともわたしは、15歳の時点では自分が思うほど物事を分かっていなかったことに気づきました。人生について、また歌について、この50年間にいくらかのことを学んできました。

情熱をもってエネルギーギッシュに生きる必要があることを学びました。1分1分は宝物であり、過ぎ去ってしまえば二度と取り戻すことはできず、思い出にかすかに残るだけです。奉仕したり主を礼拝したりしようとするならば、持てる限りの喜びとエネルギーで行うときに最も幸福を感じ、最も功を奏することを学びました。

また、幕のこちら側にいる人で完全な人はいないことも学びました。主がわたしたちに求めておられるのは、できる限り心と勢力、思い、力を尽くすことだけです。主はわたしたちが思う存分にささげるものを、たとえそれがどれほど不出来でも、最大限の献身として受け入れてくださいます。

皮肉なことに、わたしはメーベル姉妹よりも歌がうまいわけではないことにも気づきました。わたしがメーベル姉妹に抱いていた慈愛よりももっと大きな慈愛をワードの会員がわたしに抱いてくれるよう願っています。メーベル姉妹がまだここにいたら、歌を歌ってもらったことでしょう。彼女の天使のような歌声を懐かしく思います。■



## 奉仕の祝福

ジョン・A・グリーンセリ

主は喜んでわたしたちを祝福してください。また、わたしは、自分がどんなに奉仕しても主から受けた恵みはお返し切れないことを知りました。

**最**近、話者として紹介されるたびに、司会をする方が、わたしがこれまで果たしてきた教会の召しの中で目立つものを、幾つか丁寧に紹介しました。ビショップや伝道部会長、ステーク会長会などです。この兄弟は気を利かせてくれたのですが、わたしはふと、考えました。なぜ伝道主任（現在の召し）とか、これまで果たしてきた比較的目立たない召しを挙げて紹介しないのだろうか。

わたしは、正直なところ、どの召しでも同じように御霊の導きを感じ、どの召しからも祝福を受けてきたとすることが出来ます。召しを果たすときには常に主の導きを求めてきましたし、導きを受けられないと感じたことは一度もありませんでした。わたしは、どこで奉仕するかに関係なく、主は喜んでわたしたちを祝福してくださるのだ、と考えるようになりました。

わたしたちが「不死不滅と永遠の命の冠」を受けるのは（教義と聖約 81:6）、人目につく召しを受けたからではなく、どんなものであっても、受けた召しを謙虚に果たしたからなのです。救い主はこう言われました。

「頭は足に向かって、足は要らないと言ってはならない。足がなければ、

体はどうして立つことができるだろうか。

体はまたあらゆる部分を必要としていて、すべてがともに教化され、全体が完全に保たれるのである。」（教義と聖約 84:109 - 110）

わたしにはこれまで、受けるのは怖いと思った教会の召しが幾つかあります。まだ受けていない召しについてそんな風に考えていると、必ず、近いうちにその召しを受けることになるの



でした。そのような召しを引き受けるには、信仰を持ち、聖文にある約束を信頼しなければなりません。

ニーファイは言いました。「わたしは行って、主が命じられたことを行います。主が命じられることには、それを成し遂げられるように主によって道が備えられており、それでなくては、主は何の命令も人の子らに下されないことを承知しているからです。」（1 ニーファイ 3:7）パウロが言ったように、「神がわたしたちに下さったのは、臆する霊ではなく、力と愛と慎みとの霊なので」す（2 テモテ 1:7）。

恐ろしい召しだと思ふのなら断ってもよいのだと感じることがあるかもしれませんが、しかし、召しとそれを受け人について、教会の指導者たちが祈っていることを忘れてはなりません。

断れば、その召しは他の人に行き、奉仕することによる成長と祝福の機会はその人が得ることになります（教義と聖約 58:32 参照）。

主は喜んでわたしたちを祝福してください。また、わたしは、自分がどんなに奉仕しても主から受けた恵みはお返し切れないことを知りました。実際に、主の王国で行ってきた奉仕に対して、主は、夢にも思わぬほど大きな祝福をわたしと家族に与えてくださっているのです。■

筆者は西オーストラリア州在住です。

## 双子を妊娠し，奇跡を見る

チェリル・ラパティンラ・トーレ

人生は全てうまくいって思っていました。  
しかし、やがて状況が悪くなっていき、  
他にも悪いことが起こりはしないかと、  
びくびくしていました。



**あ**る晩，ニュースを見ていて、ある人物が目にとまりました。レポーターが、大学時代の同級生だったのです。ニュースキャスターになりたいという夢を実現させたのです。

「自分はどのようになるか」と自問しました。「わたしは何を成し遂げたのだろうか。」腕の中で眠っている赤ん坊に目をやり、この3年間に起きた出来事について考えました。

わたしは仕事を持ちたいと常に考えてきたのですが、夫チャールズとの間に長女シェビーが生まれると優先順位が変わり、仕事を辞めて長女の世話をするようになりました。わたし

たちにはイエス・キリストを信じる信仰がありましたから、<sup>しやうぶん</sup> 十分の一を払い、戒めを守っている限り、全てはうまくいって思っていました。

ところがスムーズにいていたのはつかのまで、ある日夫が解雇されてしまったのです。大丈夫だという信仰はありましたが、何か手を打たなければならないことは明らかでした。わたしも働くべきだという結論に達し、夫とともに仕事を探し始めました。数週間後、わたしはコールセンターに採用されました。生後9か月の我が子をベビーシッターに預けるのは嫌でしたが、これが最善の策だったのです。

この仕事に就いてちょうど1か月たったとき、わたしは妊娠していることに気づきました。幸い、夫にはすぐに仕事が見つかりました。収入はあまり多くなかったものの、助けにはなり、差し当たりやっていけそうだと安心していました。

ところが妊娠の経過が非常に悪く、わたしは仕事を辞めなければならなくなったのです。そして、月に1度の検診で、双子だということが分かり、ショックを受けました。夫もわたしも心配しましたが、天の御父を信頼しました。

妊娠3か月半の頃、出血で目が覚めました。流産ではないかと思ったので



病院に行きました。胎児は無事でしたが、出産まで絶対安静にしなければだめだと医師に言われてしまったのです。

状況は悪くなってきました。病院への支払いで銀行口座は空になってしまい、夫の乏しい収入では必要な経費を賄うことができなかつたのです。自分は役立たずだと感じました。収入を得て家計の足しにすることも、娘の世話をすることもできないのです。二人の特別な霊の子供たちをおなかに宿していることを忘れてしまうこともあり、助けてください、と天の御父に毎日、夜昼の別なく嘆願しました。他にも悪いことが起こりはしないかと、びくびくしていました。しかし、天の御父は生きておられ、わたしたちに何が必要かを御存じである、という考えが繰り返し頭に浮かびました。

夫も悩んでいましたが、それでもしっかりとしていました。夫は仕事に加えて、わたしを助け、娘の世話をしてくれたのです。夫から神権の祝福を受けて心が安らぎ、夫の愛に力づけられました。わたしたちは不安ではありましたが、この新たな試練と一緒に立ち向かいました。

わたしはこの状況を受け入れようと精いっぱい努力しました。無為に時を過ごすことなく、聖文や教会機関誌、良書を読みました。賛美歌も歌いました。特に「主のみ言葉は」(『賛美歌』46番)には、大いに励まされました。わたしは救い主に近づいていきました。こんな状況にあっても感謝すべきことがいかにたくさんあるかが分かってきました。

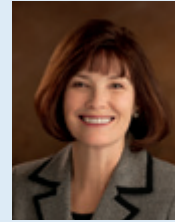
月日がたつにつれ、わたしたちの生活

に主の御手<sup>みて</sup>が働くのを感じられるようになりました。大きな奇跡、小さな奇跡が至る所で起こったのです。親族や友人が出費を一部負担してくれました。わたしたち家族に対する彼らの愛と関心を感じました。扶助協会の会長会は、一人か二人の姉妹が毎日わたしを訪問できるよう割り当ててくれました。姉妹たちは食料や雑貨を持って来て、料理や掃除をし、娘の世話をし、霊的な話をし、わたしを元気づけてくれました。わたしの具合が良くなり、おなかの双子が無事に成長するよう祈ってくれました。わたしたちは空腹になることがありませんでした。この姉妹たちは、重荷を背負うわたしにとって自分たちの奉仕がどれほど助けになったかを知りません。出産の時が来ると、天の御父はお産をととても軽くしてくださいました。そして、生まれた女の子たちはどちらも健康でした。

わたしたちの人生にとって大変だったこの時期から何年もたちますが、わたしたちが神の愛を感じることはない日は一日たりともありませんでした。今では我が家の経済状況ははるかに良くなり、子供たちも、賢く才能のある子に成長しています。わたしたちは強くなり、将来の試練によく備えるようになりました。それは、天の御父がその子供たちを御心<sup>みこころ</sup>にかなったときに祝福してくださり、彼らを助けることも慰めることもなく放っておかれることはないことを知っているからです。人生は生易しい旅ではありませんが、神は常にわたしたちとともにいて導いてくださいます。■

著者はフィリピン在住です。

## 目的のある試練

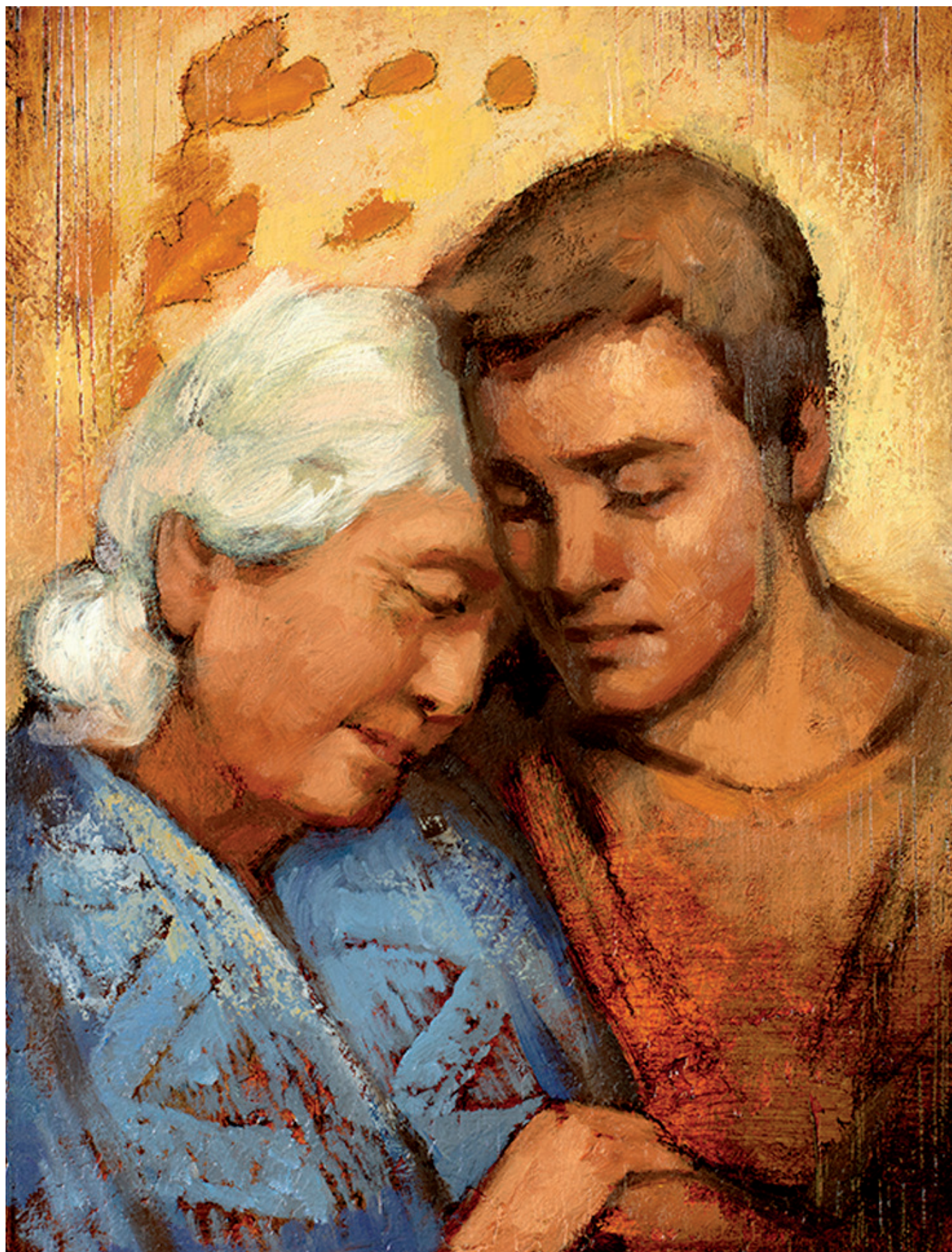


「わたしたちがなぜこれほど多くの試練に遭うのか、わたしには分かりません。しかし、これは個人的な考え

ですが、報いがとても偉大で永遠で終わりがなく、報いを受ける日はとてもうれしくて理解を超えるほどなので、憐れみ深く愛にあふれた御父に『本当に試練はあれで全部だったのですか』と尋ねたくなるのではないのでしょうか。……愛する姉妹の皆さん、これらの試練が、まさに、最後に、……永遠の命と昇栄を得る資格を与えてくれるものだとしたら、この世での苦勞など、一体どれほどのものなのでしょうか。

中央扶助協会会長会第二顧問  
リンダ・S・リーブズ  
「約束された祝福にふさわしくある」  
『リアホナ』2015年11月号, 11参照









ドン・R・  
クラーク長老

2006年から2015年まで  
中央幹部七十人として奉仕

# 清い信心 を實踐する

幸せになり、聖霊を感じ、もっと救い主に近づきたいと望むのであれば、  
清い信心を實踐することです。

**数**年前のこと、一人の青年（ここでは仮にジョンと呼びます）がわたしのオフィスにやって来ました。少し前に伝道から帰還した青年です。

「クラーク長老、わたしには助けが必要です。」とても不安そうに言いました。「わたしは伝道が大好きでした。伝道のおかげでわたしは変わりました。でも今は、伝道中のように神聖で特別な思いを感じる事が難しくなっているのです。伝道していたときのように感じるには、どうしたらよいのでしょうか。」

わたしはこのような事例を多く見てきました。その青年の質問の趣旨はこうです。「幸せになり、聖霊を感じ、救い主に近づくためには、何をしたらよいのでしょうか。」わたしたちは皆、毎日そう尋ねてみる必要があります。

その日の午後、オフィスで新約聖書のヤコブの手紙第1章27節を開き、二人で読みました。「父なる神のみまえに清く汚れのない信心とは、困っている孤児や、やもめを見舞い、自らは世の汚れに染まずに、身を清く保つことにほかならない。」

次にアルマ書第34章28節を読みました。——「もし乏しい人や着る物のない人を追い払ったり、病気の人や苦しんでいる人を見舞わなかったり、自分には持ち物がありながら、それを必要としている人々に分け与えなかったりするならば、あなたがたに言うが、もしあなたがたがこれらのことのどれも行うことがなければ、見よ、あなたがたの祈りはむなしく、何の役にも立たない。あなたがたは信仰を否定する偽善者と同じである。」

次に、ペテロと他の弟子たちが漁に出ている話が載っているヨハネの福音書を読み直しました。彼らは全く魚が捕れませんでした。救い主に言われるままに舟の反対側に網を降ろしてみると、153匹もの魚が捕れたのです。食事を済ませると、ペテロと救い主が話し始めます。救い主は御自分の教えている相手が、やがて終わりの時代の一つを担って預言者になり、教会を管理するようになることを御存じでした。

「あなたは……わたしを愛するか」と救い主はお尋ねになります。

ペテロはこう答えました。「主よ、そうです。わたしがあなたを愛することは、あなたがお存じです。」

すると救い主は「わたしの小羊を養いなさい」と言われました。

救い主は同じ質問をもう2回繰り返し、やがてこう指示なさいました。「わたしの羊を養いなさい。」(ヨハネ 21:3 - 17 参照)

ペテロはまさにこのとき、清い信心を実践するよう、つまり人々に関心を寄せるよう教えを受けていたのです。現在の神の預言者もまた、人々に関心を寄せ、人々を愛しています。トーマス・S・モンソン大管長はこの清い信心を実践する者として大いなる模範となっています。大管長は、人々を愛し、世話することにその生涯をささげてきました。

わたしはこれまで、友人のジョンのような帰還宣教師を数多く見てきました。彼らにどうして伝道が好きだったのかと尋ねれば、おそらく異口同音に、人々を愛していたからだと言えらるでしょう。宣教師は、自分自身のことよりも他の人々に関心を寄せ始めたその日に、幸せを感じるようになります。それはわたしたち全てにも当てはまります。他の人々に関心を寄せ、愛するなら、わたしたちはいつでもより幸せになります。

「人に関心を寄せる」ことの反対は、自分自身、つまり自分の車、自分の学業、自分の仕事、自分の問題について考えることです。いつも自分のことしか考えていないと、天との

つながりは、本来持てるほどには強くありません。

わたしはジョンに、もし清い信心を実践したら、きっと幸せになり、伝道中に感じた気持ちを味わうことができるとアドバイスしました。同じように、もし皆さんも幸せになり、聖霊を感じ、もっと救い主を近くに感じたいと望むのであれば、清い信心を実践することです。先ほどの聖句から、清い信心とみなせる4つの大切な実践方法を学ぶことができます。

## 1. やもめを見舞い、世話する

ジョンは大学に戻り、わたしたちが話し合ったことを行動に移しました。その後メールをくれ、介護施設にいる年配の人たちに教会機関誌にあった靈感あふれる記事を読んで聞かせた経験を紹介してくれました。

彼のメールです。「多くの人は、御霊が簡潔な真理や証について証してくれたとき、救い主からのあふれんばかりの愛と支えを感じました。わたしは、自分とほとんど関係のなかった人たちから、あるいはその人たちに対して、そのような愛を感じられるとは夢にも思っていませんでした。でも、その優しい人たちに対する救い主の愛を感じたのです。こうした人たち、つまり、現在認知症や肉体の病を患っている人たちに、幕の向こう側で会うことになるということが、わたしにとって明白になったのです。幕の向こう側から彼らをずっと





見守ってきた、彼らの伴侶にもいつか会うことになるのです。祖父の存在を強く感じました。会ったことがないのに、わたしが祖母と一緒に座っていると、祖父の霊がわたしを強め、支えてくれたのです。祖父はただ立ち寄っただけのわたしに感謝してくれていることが分かりました。」

ジョンはこう続けています。「わたしにそのような深い<sup>あわ</sup>憐れみを見いだすことができるのは、誰も思わなかったでしょう。そのような経験をした後で、家に帰ってテレビを見たり、何か他の息抜きをしたりするのは、非常に無意味に感じられました。わたしの心は変わりました。わたしたちが聖徒として他人に焦点を当て、何らかの形で助けようと努めるときには、1日のうちのどんな瞬間であってもそのような憐れみを感じる経験ができるということに気づくのです。」

皆さんも同じことができます。主は、ジョンになさったように皆さんも祝福して下さいます。

## 2. 孤児を助ける

世界にはたくさんの孤児がいます。そのような孤児の一人と定期的に連絡を取ったり、手紙を書いたりできるとしたら、すばらしいと思いませんか。

息子のネイトも、伝道から帰還すると、友人のジョンと同じような気持ちになりました。そこでネイトは、1対1で支援してくれるつながりが必要な子供たちを成人と結びつけるプログラムで、相談役としてボランティアをすることにしました。奉仕活動を通して、ネイトの大学での体験は一変しました。現在では既に結婚しているネイトは、妻カーラとともに、このプログラムを通じて、再び「養子縁組」をしました。二人の結婚生活において、自分たちの持っているものを、必要としている人々と分かち合うのは、大きな祝福となってきました。

妻のメアリー・アンとわたしがボリビア・サンタクルーズ伝道部で奉仕していたとき、親のない宣教師がいました。家族がいなかったのです。主は、その長老がホーキンス長老



のトレーナーになるよう割り当てられました。わたしはその長老が最も優れたトレーナーだと思っていたわけではありませんが、主の宣教師の一人となった家族のいない青年にとって、ホーキンス長老はこの上ない同僚でした。

ホーキンス長老の両親は、この宣教師に伝道中ずっと手紙を書き、今に至るまで15年間それを続けてきました。ホーキンス長老と家族のおかげで、かつて身寄りのなかった少年は、愛され、大切にされ、今では幸せな結婚をし、仕事にも就き、イエス・キリストの福音に活発に関わっています。わたしたちは誰でも身寄りのない子供たちに変化をもたらす助けができます。

## 3. 貧しい人や困っている人の世話をする

聖文は、貧しい人や困っている人を助けることがいかに大切か、常に思い起こさせてくれます。わたしたちには皆、その責任があります。<sup>1</sup> 断食献金を惜しみなく納めることは、

誰かの祈りの  
答えとなるために、  
主はわたしたちを  
信頼してくださって  
いるでしょうか。  
わたしたちがいつも  
聖霊の促しに従うと  
信頼してくださって  
いるでしょうか。



貧しい人や困っている人をもっと助ける方法の一つです。ブリガム・ヤング大管長（1801 - 1877年）はこう述べました。

「この盆地に来た最初の年は、収穫まで家族が生き抜けるだけの十分な小麦粉がありませんでした。……それでも、人々はパンを求めて毎日わたしの家にやって来ました。[そのことで] 気持ちが沈んでいたある日のことです。古いとりでまで出かけて行き、自宅に戻って来るまでには、わたしの心はすっかり癒やされていました。わたしは妻に言いました。『我が家に食糧を求めて来る人を、一人たりとも手ぶらで帰すことがないようにしてほしい。そのようなことがあれば、わたしたちは収穫前に苦しむことになるだろう。しかし、我が家に来る人たちに一人残らず与え続けていたら、わたしたちにはきっと生き抜くのに十分なものが残るだろう。』……」

わたしは自分のパンが尽きることがないように、それを続けるつもりです。もしそうしなければ、パンに不足することになるでしょう。

皆さんはこの原則を信じますか。わたしはこの原則が真実であることを知っています。自分で何度も経験してきたからです。』<sup>2</sup>

以下に紹介する体験談は、コロラド州に住むある医師が、キリスト教徒向けのウェブサイト投稿したものです。この医師は、車に異音が生じてエンジンが止まってしまう、ようやくガソリンスタンドまでたどり着きました。レッカー車を呼ぶ

ために電話しようとしていると、一人の女性が滑って転んでしまったのが目に留まりました。古い車が給油機のそばに止まっています。

「わたしは彼女が大丈夫かどうか心配になり、すぐに車を出しました。駆け寄って見ると、彼女は転んだというよりも、まるでむせび泣きを抑えられない様子でした。まだ若いのに、本当に疲れ切った表情で、目の下にはくまができていました。起き上がるのを助けるときに、彼女が何かを落としたので拾って渡しました。5セント硬貨でした。

その瞬間、全てがはっきり分かりました。涙を流す女性、家財道具をいっぱい詰めた3人の子供を後ろに乗せた（1人はチャイルドシートに座っていました）旧式の〔車〕、そして、4ドル95セントを表示している給油機のメーター。大丈夫かどうか、そして何か助けを必要としていないかどうか、彼女に尋ねました。すると彼女は、『子供に泣いている姿を見られたくない』という言葉の繰り返しでした。』

状況を理解したこの医師は、クレジットカードを取り出し、彼女の車のガソリンを満タンにすると、ガソリンスタンドの隣にあるファストフード店で、彼女と子供たちのために、大きな袋二つにいっぱいの食べ物とギフト券を何枚か買って戻って来ました。

「彼女は名前を告げると、〔ミズーリ州の〕カンザスシティーに住んでいたと言いました」と彼は続けます。「恋人が2か月前に家出し、もう食べる物も尽きたというのです。……絶望のうちに、最後に両親に電話しました。両親とはもう5年も話していなかったのです。カリフォルニア州に住んでいる両親は、彼女が自立できるようになるまで、実家で一緒に住んだらいいと言ってくれたので、彼女は持ち物を全て車に積み込んだのです。』

医師は彼女を抱き締めると、無事に着けるようにと彼女のために祈りをささげました。彼が車に戻ろうとすると、その女性が尋ねました。「あなたは天使か、何かなんですか?」

医師は答えました。「神はときどき普通の人を使われるんですよ。』

そして医師はこう述べています。「誰かの奇跡に少しでも関わられるなんて、信じられないような経験でした。そして当然ですが、……わたしが車に戻ると、車はすぐにエンジンが掛かり、問題なく帰宅できました。明日車を点検してもらうつもりですが、修理屋だっどどこも悪い所は見つけられないと思います。』<sup>3</sup>

誰かの祈りの答えとなるために、主はわたしたちを信頼してくださっているのでしょうか。わたしたちがいつも聖霊の促しに



従うと信頼してくださっているでしょうか。御霊<sup>みなたま</sup>の促しに従えば従うほど、主は誰かの祈りの答えとなる機会をそれだけ多く下さるのです。

#### 4. 主の子羊や羊を養う

イエスがペテロと話されたとき、イエスの最初の勧告は「わたしの小羊を養いなさい」というものでした。もしわたしたちが子羊を養うなら、行方の分からない羊を探しに行く必要がなくなることを主は御存じなのです。わたしたちの中には、助けを必要としている弟や妹、おいやめいなどがあるという人もいることでしょう。そうした人々のためにわたしたちが大いなる模範となることができますように。そして、わたしたちの助けを必要としている羊を見つけ出すことができますように。

皆さん、子羊を見つけて、助けてくださいませんか。救い主がわたしたちに求めておられるように、羊飼いとて信頼に応えられる者と

なり、子羊や羊の世話をしてくださいませんか。

救い主のペテロに対する問い掛けは、わたしたち一人一人にも向けられています。「あなたはわたしを愛するか。」やもめを見舞い関心を寄せることにより、また孤児を助け、貧しい人や困っている人の世話をすることにより、そして主の子羊や羊を養うことによって、清い信心を実践するとき、わたしたちは主を愛していることを、救い主に示すのです。そうするならば幸せになり、聖霊を感じ、救い主をさらに身近に感じるようになるのです。■

2015年1月13日、ブリガム・ヤング大学アイダホ校のデイポーショナルで行われた説教“Pure Religion”から。全文(英語)は [speeches.byu.edu](http://speeches.byu.edu) からご覧いただけます。

#### 注

1. ジェフリー・R・ホランド「わたしたちは皆、物乞いではないだろうか」『リアホナ』2014年11月号、40 - 42 参照
2. ブリガム・ヤング, “Remarks,” *Deseret News*, 1856年6月18日付, 116
3. “Friends Are God’s Way of Taking Care of Us,” [lisburn.com/stories/friends\\_are\\_gods\\_way.html](http://lisburn.com/stories/friends_are_gods_way.html).



#### わたしたちも与える必要があります

「たとえわたしは兄弟の番人ではないとしても、わたしは兄弟の兄弟であり、『主の恵み〔を〕人にも分か〔ち〕』合わなければならないことを知っています。」

#### 十二使徒定員会

ジェフリー・R・ホランド長老  
「わたしたちは皆、物乞いではないだろうか」  
『リアホナ』2014年11月号、42





# 什分の一と タイミングと車

アティリオ・コイティーニョ・グズマン

**あ**る土曜日、わたしたちは、翌日教会に行くのに、公共交通機関を利用するためのお金がないことに気がつきました。現金を引き出すすべもありません。什分の一は封筒に入っていました。ビショップに渡すためです。教会にどうやって行こうかと話し合い始めました。什分の一を交通費に使っても主は理解してくださると感じましたが、それは正しいやり方ではないと判断しました。

もう一つ考えられるのは、教会に行かないという選択肢で、これもやはり主は理解してくださると思いました。わたしたちはそれまで一度も教会を休んだことがなかったからです。しかし、そんなことをしたら什分の一をビショップに渡せなくなりますから、この選択肢も外しました。

忠実になろうと努め、いつもより早く家を出て教会まで歩いて行くことに決めました。見事に晴れ渡ったその安息日に、わたしたちは家から3マイル(4.8キロメートル)ほどの所にある礼拝堂に向けて出発しました。6歳を頭に4人いる子供たちにとって、これはパーティーのようなもので、彼らは走ったり遊んだりして道中を楽しんでいました。

広くて危険な通りの所まで来ると、「渡るのは今です」という御霊みたまの声が聞こえました。妻に話すと、道が一部カーブに差しかかかっていて向こうから車が来ても見えないから危険だと言います。わたしはそこを渡るべきだと感じると答え、妻と一緒に二人ずつ子供の手を引いて、さっと渡りました。すると、歩道にたどり着いたときにちょうど、その歩道のそばに車が1台止まったのです。そして、運転手がこう尋ねてきました。「教会に行かれるのですか。」





わたしたちは教会に行こうにも  
お金がなかったので、  
歩き始めました。

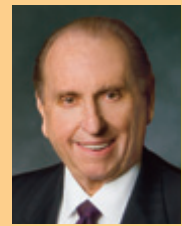
運転手は他のワードの兄弟でしたが、わたしはそのワードを訪問したことがあったので面識がありました。そうですがと答えると、わたしたちを乗せて行ってくれと言います。わたしたちが車に乗り込むと、彼は、この道は通ったことがないけれども、彼のビジネスパートナーが事務所の鍵を失くしたので、鍵を事務所まで届けるためにこの道を通っただけなんですと説明してくれました。

これは偶然ではない、とわたしは思いました。わたしたちが教会に行くためには車が必要だということを、主は御存じだった

のです。什分の一はわたしのポケットにありましたから、これは、什分の一を払うことからもたらされる祝福について子供たちに教える機会になりました。礼拝堂にはこれまでになく早く着きましたが、喜びと感謝の気持ちを感じました。全ての集会に出席しましたが、朝の出来事については誰にも話しませんでした。

サンパウロの夏は非常に暑く、教会の集会が終わる日中は、特にそうです。わたしたちが帰り支度をしていると、「誰か家に送ってくれる人はいるのですか」と聞きに来た人がいました。いないと答えると、「わたしが送りましょうか」と言います。「お願いします」と言い、わたしは妻と顔を見合わせて感動のほほえみを交わしました。

わたしたちが従順であったために、主は偉大な祝福を一度ならず下さったのです。■  
著者はブラジル・サンパウロに住んでいます。



### 従順は幸福をもたらす

「戒めを守るならば、もっと幸せで、満ち足りて、煩いよりも少なくなり……ます。試練や問題にもっと耐えやすくなり、〔天の御父〕が約束された祝福を受けるようになるでしょう。しかし、神は律法と戒めをお与えになる一方で、それを受け入れるか拒むかをわたしたちに任せられます。この選びが、わたしたちの行く末を決めるのです。……

神の戒めを守り、神の律法に従うことによってこの世で最大の幸福が得られることを、わたしたちが悟ることができますように。」

トーマス・S・モンソン大管長  
「戒めを守りなさい」  
『リアホナ』2015年11月号、  
83, 84 参照









十二使徒定員会  
ロナルド・A・  
ラズバンド長老

# 信仰, 公正, そして 信教の自由

公正の精神をもって他の人々に手を差し伸べるようにという勧めに従うとき、救い主が皆さんや天の御父の全ての子供に対して抱いておられる愛をさらに強く感じることでしょう。

**わ** たしは、「信教の自由」という言葉を「差別する自由」のように感じている人がいるのではないかといぶかっています。わたしはこのことについてお話しします。そして、教会が信教の自由について語るときにそれをどういう意味で語っているのか、また皆さんの将来と末日聖徒イエス・キリスト教会にとってそれがきわめて重要なのはどうしてか、皆さんが理解できるようにお助けしたいと思います。また、信教の自由に関して一部の人が抱いている多少の疑念や誤解についてもお話しするつもりです。

社会や政治、また市民の間の問題に宗教が果たす役割を理解しようと苦闘している人がいるかもしれません。そもそも宗教団体が政治に関与するのはなぜかと、疑問に思う人がいるかもしれません。またその動機についても懐疑的に見ることが多いかもしれません。ここ数年、宗教は政治的な論議に関与するべきではないと考えるグループの発する声が大きくなっています。

ほとんどの国において、人々には、政治的な活動に関わる特権が与えられています。社会的また道徳的な文化を形成するうえで、法律や規制は、人々に教えるという重要な役割を果たします。社会の全ての人々が市民対話に積極的に参加する必要があります。市民対話は、全ての人にとって公正な法律を制定するのに助けとなります。

## 全ての人の自由

信教の自由について述べる時、わたしたちは何を話しているのでしょうか。わたしは二人の人について話したいと思います。わたしが話している間、皆さんは自分がその一人であればどう感じるか、考えてみてください。

最初の話に出てくる人物をイーサンと呼ぶことにしましょう。彼は念願の仕事に就いたばかりで、良い印象を与えたいと思い、早く入社して遅くまで働きました。特別プロジェクトを引き受け、優れた業績を上げました。多くの同僚から好感を持たれ、楽しく働いていました。ある日、数人の同僚と一緒に昼食を取っていたとき、気楽な気持ちで、自分が同性愛者であることを告げました。気まずい沈黙がありました。どう答えればよいか誰も分からなかったからです。イーサンは同僚たちの冷ややかな反応に失望し、傷つき、そして拒絶されたと感じました。

その昼食時の会話以降、イーサンは職場で居心地の悪さを感じるようになりました。自分は弱く、価値がないと感じるようになりました。大きなプロジェクトや勤務時間後の付き合いから自分が除外されていることを知りました。また、仲間外れにされ、必要とされていないと感じたため、生産能力が落ち始めました。数か月後、彼は解雇されました。上司から十分に働いていないと判断されたためです。いくらそうではないと説明されても、イーサンは、同性愛者だということで解雇されたと分かっていました。

次に、サマンサという女性について話したいと思います。サマンサは地元の大学の事務局で働き始めたばかりでした。さまざまな考えや意見、背景にあふれている刺激環境の中で働くことに大きな喜びを感じていました。ある日、作中に一人の同僚がサマンサに近づいてきて、モルモンだと聞いたが本当かと尋ねました。サマンサは機嫌よく、そうだと答えましたが、続く質問に驚かされました。

同僚が、「同性愛者を嫌うのはどうしてなの?」と尋ねてきたのです。サマンサはその質問に驚きましたが、神について、また神の子供たちのための御自分の計画について、自分が

信じていることを説明しようとしていました。道徳的また性的な行動に関する指針を信じていることも告げました。同僚はそれに反論し、社会の他の人々はそのような信条よりも先を行っていると言いました。「それに、これまでの歴史を見れば、宗教上の教えをだしにして戦争を仕掛け、弱者をのけ者にする人々ばかりだわ」と言いました。

サマンサは、自分が固く信じていることと、神が全ての人を愛しておられると理解していることについてもう一度同僚に伝えてから、自分の信じる権利を尊重してほしいと同僚に頼

みました。同僚は矢も盾もたまらず二人の会話について他の職員たちに話しました。その後の数週間、さらに多くの同僚からさまざまな質問と攻撃を浴びせられ、サマンサはますます孤独感を覚えるようになりました。

サマンサの上司は、職場で宗教の話が多くなっているのを知り、職場で伝道すれば職を失う危険があるとサマンサに忠告しました。イーサンの場合と同様、サマンサの仕事も支障を来し始めました。解雇される危険を冒すことなく、サマンサは別の仕事を探し始めました。

さて、以上は架空の話ですが、このような人たちは現実に存在します。多くのサマンサとイーサンがいます。どのような生き方を選ぼうと、何を選択しようと、わたしたちは皆、同じ人間であり、互いに公正であり親切であることを願っています。イーサンは同性愛者であることを理由に解雇されるべきではありませんでしたし、サマンサは宗教を持っていることを理由に脅かされるべきではありませんでした。二人とも不当に批判され、

判断され、そして不当な仕打ちを受けました。

今日の社会において、イーサンの状況に共感するのは政治的に正しいとみなされますが、それに比べてサマンサの状況についてはそうではありません。イーサンは自分のケースを反同性愛者による差別の一例として支援団体に採り上げてもらえるかもしれません。確かに彼は擁護されてしかるべきです。

しかし、サマンサについてはどうでしょうか。サマンサの宗教的良心の権利は誰が擁護してくれるのでしょうか。

### 信教の自由の重要性

「わたしたちが」理解しておくべきなのは、選択の自由を忠実に用いるには信教の自由が不可欠であるということです。わたしたちはサタンがこの自由を与えまいとしていることを承知しています。サタンは天で道徳的な選択の自由を損なおうと試み、今は地上で信教の自由を損ない、反対し、混乱を広めようと躍起になっています。信教の自由とは何か、またそれが霊的な生活とわたしたちの救いそのものになぜ不可欠かについて混乱させようとしています。」

#### 十二使徒定員会

ロバート・D・ヘイルズ長老

「選択の自由を保ち、信教の自由を守る」

「リアホナ」2015年5月号、111-112





信仰を持つ者として本来の生き方をする彼女の権利についてはどうでしょうか。彼女は全ての人を愛し、全ての人に仕えようと決意していました。また善悪を選び、それに従って生活する権利も持っていたのです。

### 全ての人に対する公正

わたしたちの社会は特定のグループに対する不当な差別を正そうとすることだけに目を向けるあまり、今や別の犠牲者のグループを生み出す危険があります。そのグループとは、皆さんやわたしのように信仰を持つ人々です。

すでに幾つかの宗教団体が経営する学校が疑問視されています。学生や職員に対して、貞節と純潔を求める倫理規定を守ることを課しているからです。大企業の最高経営責任者たちが、彼らの宗教上の見解はもはや政治的に受け入れられないという理由で、脇に追いやられたり、辞任を強要されたりしています。また、オーナーが良心に感じるままを語ったことで、廃業に追いやられているビジネスもあります。

何年もの間、皆さんが何を聞き、何を読んで

きたかにかかわらず、末日聖徒イエス・キリスト教会は一貫して選択と良心の自由を擁護してきました。何年も前に預言者ジョセフ・スミス（1805 - 1844年）はこう記録しています。「全ての人には平等に造られており、良心に関する全ての事柄について自分自身で考える特権を与えられています。わたしたちはこれを……信じています。」<sup>1</sup>

後に、さらにこう述べています。「もしこれまで『モルモン』のために進んで命を差し出した[し]てきたとするなら、わたしは自分が長老派、バプテスト、あるいはほかの宗派の善良な人の権利を守るためにも同じように命を差し出す用意ができてい……ます。末日聖徒の権利を踏みにじる考え方は、……信者が少なく、自分たちを守る力を持たない宗派の権利をも踏みにじるものです。」<sup>2</sup>

では、教会は信教の自由についてどのような立場を取っているのでしょうか。わたしは断言できます。使徒と預言者は、天の靈感の下でこの問題について十分に検討してきました。わたしたちは神の戒めに従うことを信条としています。戒めがある目的は、わたしたちが

預言者  
ジョセフ・スミスは  
こう記録しています。  
「全ての人には  
平等に造られており、  
良心に関する  
全ての事柄について  
自分自身で  
考える特権を  
与えられています。  
わたしたちはこれを  
……信じています。」



イエス・キリストは人々の民族性や地位、境遇を一切気にせず、簡潔な真理を教えられました。

永遠の幸福を確実に得られるようにするためです。しかし、「神は人を強いて天に向かわせること〔はありません。〕」<sup>3</sup> 誰もが他の人の権利と安全を侵害することなしに良心に従って生活する場所を設けることができると、わたしたちは信じています。あるグループの権利が別のグループの権利と対立する場合、わたしたちは可能な限り多くの人に公正かつ思いやり深くあるようにという原則に従わなければなりません。この教会は「全ての人に対する公正」<sup>4</sup>を信じており、教えています。

良心を守るとは、人の考え方と感じ方を守ることであり、またその信念に従って行動する権利を守ることです。わたしが話しているのは、皆さんに対して、「あなたの物の見方は一般向けでないので、あなたの抱いている思いや気持ち、信念は認められず、大切にされず、受け入れられない」と言う人のことです。天での戦いは、選択の自由を擁護するために行われたものでした。自分の物の見方が大衆の見方と一致していないという理由で自分の良心を裏切るように皆さんに強いることは、その選択の自由をひどく侵す行為です。

どうか誤解しないでください。本来の自分であるようにということについてわたしが語る時、それは、結果を考へることなしに自分の選んだ方法に従って生活してよいという許可を主が与えてくださっているということではありません。わたしたちはそれでも自分の選択について主に報告する責任があります。主はこう言っておられます。「それだから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。」(マタイ5:48) 完全を求めるようにという戒めには、今いるところから始めて、主の助けを求めながら主から望まれているところまで自分を高めるということが含まれます。本来の自分に誠実であるためには、自分の光、知識、理解力を増し続ける必要があります。

若い世代は、歴史上最も科学技術に依存している世代です。通信ラインに常時接続しています。皆さんはインターネット上の全ての情報が常に100パーセント正確であると思っているのですね。もちろん、そうではありません。ですから、教会や、同性愛者の権利に関する教会の立場について、インターネットで



見る全てを信じることはしないでください。

教会が進めている「全ての人に対する公正」の最近の実例として、2015年1月の取り組みが挙げられます。教会は3名の使徒と中央若い女性会長会の一員による記者会見を行い、会員と地域社会とユタ州議会に対して、教会が全ての人の権利を守るうえでバランスの取れた取り組みを支持することを改めて表明しました。

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老はその記者会見で次のように述べました。「わたしたちは地方自治体、州政府、また連邦政府に対して、その全ての住民に次の方法で仕えるように求めます。個人、家族、教会、またその他の宗教グループにとって重要な信教の自由を守ると同時に、住居、雇用、またホテル、レストラン、交通機関の公共施設においてLGBT〔レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーの英語の頭文字〕の住民の権利を守る法案を通すよう各政府に求めます。実際、我が国の多くの地域でその権利が擁護されていません。」<sup>5</sup>

それから6週間後、LGBTの人たちと宗教を持つ人たちの両者を擁護する法案が可決され、わたしたちの教会の指導者やその他の人々からLGBT関係団体にお祝いの言葉が伝えられました。人々が性的指向やジェンダー（性別）を理由とした立ち退きや入居差別、または解雇されることもなく権利を擁護されているのを目にするのは心強いことでした。わたしたちは他の宗派の友人たちにも、彼らが同様に職場や公共の場所で擁護されているのを見てお祝いの言葉を伝えました。

ユタ州ならびに教会が行ったこのような歴史的な歩み寄り、全米のニュースで報道され、称賛を受けました。ところで、教義や宗教上の原則は一つも曲げられなかったことに留意してください。性的な関係は結婚した男女の間でのみ許されるものであるという神の道德律やわたしたちの信条は、まったく変更されませんでした。その結果は、わたしたちが全ての人に対して公正であり、道德の標準と教えにおいても他の人を尊重することにおいても、終始一貫していることを示していました。

## 公正のメッセージ

わたしたちの多くは政府や立法機関で大きな役割を果たすということはないでしょう。したがって、このテーマが自分の日常生活とどのような関わりがあるのかと、皆さんは思っているかもしれません。公正のメッセージを支持し、伝えるため

に、皆さんが行える3つの事柄についてお話ししたいと思います。

まず、公正のレンズを通して他の人々を見るようにしてください。これを行うためには、天の御父が御自分の全ての子供を等しく愛しておられるということをもっと認識する必要があります。主はこう言っておられます。「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互に愛し合いなさい。」（ヨハネ13:34）皆さんや誰かの選択、罪、過ちによって、皆さんやその人に対する主の愛が変わるということはまったくありません。だからといって、主がわたしたちや他の人々の罪深い行為を許される、あるいは大目に見られるということではありません。わたしたちもそのようなことはしません。しかし、わたしたちは愛をもって手を差し伸べて、説得し、助け、救いをもたらします。

皆さんが十分に完全に愛されていると感じるとき、他の人々を愛し、救い主が見ておられるように彼らを見ることは一層容易になります。どうぞ祈りによって救い主に頼り、自分自身と他の人々に対して主の純粋な愛を持てるように願って求めてください。皆さんが信仰をもって求めれば主の愛を感じると、主は約束してくださっています（モロナイ7:48参照）。

この純粋な愛に満たされると、皆さんの思いや行動に導きが与えられます。特に、論争を引き起こす場合もある政治的な議論の場において、導きが与えられます。政治、特に信教の自由について論じるとき、緊張が高まりやすいものです。そのようなときに冷静さを失ってしまうと、家族や友人、隣人や知人から、クリスチャンらしくないと思われてしまいます。

救い主が厳しい質問や挑発的な言葉にどのように対処されたかを思い出してください。救い主はいつも穏やかで、敬意を示し、真理を説かれました。それでも、誰に対しても、御自分が教えた方法で生活するよう強制されたことは一度もありません。

第2に、他の人々に接する際には公正であってください。イエス・キリストは人々の民族性や地位、境遇を一切気にせず、簡潔な真理を教えられました。井戸の傍らにいたサマリヤ人の女性（ヨハネ4:5-30参照）、ローマの百卒長（マタイ8:5-13；ルカ7:1-10参照）、人々から嫌われていた取税人（ルカ18:9-14参照）を思い出してください。主は御自分の模範に従うようにわたしたちに命じておられます。「わたしに従い、わたしが行うのを見たそのことを、

あなたがたも行いなさい。」(2 ニーファイ 31:12) 皆さんやわたしたちとは違う罪を犯しているからという理由で、人々を裁いたり、不公正に接したりしないでください。

同性に魅力を感じる友人や家族、あるいは LGBT の権利の強力な支援者である友人や家族がいる場合、おそらく他の人々に公正に接するうえで最大のチャレンジは、信教の自由を支援する際に必要なバランスを取ることです。公に、自由に自分の信仰を行使する権利を擁護するように求めれば、寛容ではない、協力的ではないと思われるのではないかと心配する人もいます。

もう一度、救い主の生涯を研究し、主の導きを求めてください。救い主は愛と励ましの手を差し伸べる方法を完全な形で示されるとともに、わたしたちが真実であると知っている事柄を確固として守り通されました。姦淫を犯した女性が捕らえられたとき、主は罪のない者が進み出て最初に彼女を罰するように言われたことを思い出してください。出てくる者が一人もいなかったため、罪のない御方である救い主はこう言われました。「わたしもあなたを罰しない。お帰りなさい。今後はもう罪を犯さないように。」(ヨハネ 8:11) 救い主が彼女に示された赦しと思いやりは、性的に親密な関係は合法的かつ正当に結婚した夫婦のためのものであるという救い主の教えと矛盾してはいませんでした。皆さんも揺るぎなく正義と真理を守りながら、思いやりをもって手を差し伸べることができます。

キリストの友人たちや弟子たちがキリストとの関係を断ったとき、キリストは悲しみと苦しみを表されました。しかし、関係を断ったのは、彼らがキリストの教えに気詰まりを覚えたからであって、キリストが彼らに気詰まりを覚えられたからではありません。

わたしたちは他の人々に公正に接しようとする場合、選択の自由の原則を心に留めておかなければなりません。他の人々の選択する能力を常に尊重し、そして自分にも同様に行ってくれるように頼まなければなりません。信教の自由について他の人々と話す場合、相手にとって付き合いにくい存在

にならないように気をつけながら、相手と異なる意見を述べることができるということを常に覚えておかなければなりません。難しい話になったり、気まずい関係になったりするのを心配するあまり、このような重要な問題について話し合うのを避けるようなことはしないでください。わたしたちは助けを祈り求めることができます。救い主に喜んでいただける方法で語り、行動できるように、救い主の助けを期待することができます。

**第3に、他の人の権利が妨害されているのを見たら、公正**

**を擁護してください。** 十二使徒定員会の L・トム・ペリー長老は、男女の結婚を固く信じた人の偉大な模範でしたが、他の人々の権利を進んで擁護しました。そして、人々が不当な扱いを受けている場面や、法律が平等に適応されていない場面を目撃したときには、他の人々の権利をしっかり擁護する模範を残しました。

ジョセフ・スミスの時代から現代に至るまで、わたしたちは、教義を曲げることなく不和や苦痛を癒やすために手を差し伸べるという姿勢を受け継いでいます。わたしたちの教義は変わっていないのです。

### 積極的に関わる

最後に次のことをお話しておきたいと思います。皆さんの世代からこの問題に積極的に関わる必要があるということです。皆さんの世代は思いやり、敬意、公正について自然に理解する必要があります。わたしがこう言うとき、わたしは主の教会の指導者を支持している

こととなります。皆さんは楽観的であり、これらの複雑な社会的問題に取り組む決意をしてください。

皆さんはキリストのような生活をする方法を理解するために救い主に頼りながら、同時に、信仰を異にする他の人々に公正に、愛をもって接して下さると、わたしたちは信じています。皆さんが何か有意義なことを行う人でありたいと願っていることを、わたしたちは知っています。また、立ち直りが早く、協調性があるということも、知っています。

### 公正を支援し、促す方法

1. 公正のレンズを通して他の人々を見る。
2. 他の人々に接する際には公正である。
3. 他の人の権利が妨害されているのを見たら、公正を擁護する。







最も重要なことですが、複雑なこの問題について語り合い、信仰を持つ人々を含む全ての人にできるだけ公正に接する方法の解決策を見つける必要があります。学校や家庭で、また友人や職場の同僚との関係の中で、これらのことについて語り合う必要があります。

このように語り合うときに、どうぞ次の原則を心に留めておいてください。公正のレンズを通して他の人々を見て、敬意と思いやりをもって彼らに接し、同じ対応を相手に期待することです。

### 一層の愛

最後に、わたしの証<sup>あかし</sup>を残したいと思います。公正の精神をもって他の人々に手を差し伸べるようにという勧めに従うとき、救い主が皆さんや天の御父の全ての子供に対して抱いておられる愛をさらに強く感じることでしょう。皆さんが示す敬意と公正の模範は、数々の扉を開き、皆さんの生涯にわたって大切なものとなる有意義な友情を生み出すことでしょう。

わたしは証します。天の御父は生きておられます。御父は皆さんを御存じであり、皆さん

を個人として愛しておられます。いつでも皆さんを助けようと用意しておられます。御父はわたしたちに御自分の計画を明らかにされました。わたしたちは御父のもとに戻って、永遠にとともに住めるだけでなく、この世で祝福を受け、幸せになることもできるのです。御父の教えに従い、愛と思いやりをもって他の人々に手を差し伸べるとき、皆さんはさらに一層御父の力と愛を感じることでしょう。■

2015年9月15日にブリガム・ヤング大学のディボーションで行われた説教「信教の自由と、全ての人に対する公正」から。全文(英文)は [speeches.byu.edu](http://speeches.byu.edu) からご覧いただけます。

### 注

- 1.『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』344
- 2.『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』345
3. “Know This, That Every Soul Is Free,”『賛美歌』(英文), 240番
4. “Transcript of News Conference on Religious Freedom and Nondiscrimination,” 2015年1月27日, [mormonnewsroom.org](http://mormonnewsroom.org)
5. ダリン・H・オークス, “Transcript of News Conference on Religious Freedom and Nondiscrimination” で引用

救い主は  
愛と励ましの手を  
差し伸べる方法を  
完全な形で  
示されるとともに、  
わたしたちが  
真実であると  
知っている事柄を  
確固として  
守り通されました。

# 生きることを 選択する

——自殺したい  
という思いに  
打ち勝つ

世の光である御方の

助けにより、

わたしは

季節性うつという闇を

通り抜けることが

できました。



## 匿名



自殺願望との闘いが始まったのは、アイスランドの寒冷都市に引っ越して間もない頃でした。冬期の日照不足が引き金となって、重度の季節性感情障害（SAD）に陥ってしまったのです。耐えられないほど激しい苦悩に襲われ、自殺を考えました。

最初の年は、自分がうつだということが受け入れられませんでした。自殺願望については怖くて誰にも言えず、夫にすら黙っていました。わたしが命を脅かす病気に苦しんでいることは、家族も教会員も知りませんでした。証の強い活発会員で、大きな試練に遭ってはいないと思われていたのです。安らぎを求めて何度も祈り、天の御父から力を頂きました。以前にも増して食事に気をつけ、度々運動をし、熱心に聖文を研究し、人に奉仕し、全ての戒めを守りました。しかしそれでは不十分でした。

巨大な波のようにうつが押し寄せてきたのです。そこでさらに速く走り、さらに懸命に祈りました。しかし、いつでも波に追いつかれずに走れたわけではありません。流れに逆らって泳ぎ、子供たちが帰宅するまで、あるいは昼食までは生き延びられるようにと祈りました。意志の力だけで自分の思いと衝動に打ち勝ち、分刻みで生きようとした日もありました。

初めて激しい心の痛みを感じ、自殺しそうになったときのことを覚えています。計画を立てたり、前もって考えたりしていたわけではなく、一瞬、論理的に考えることができなくなったのです。後で分かったのですが、すんでのところ自分の命を絶つところでした。自分はどうなっているんだろうと思いました。自殺願望を抱いてはならないと自分に言い聞かせ、そのような願望などなかったかのように振る舞いました。これからはそのような思いは絶対に抱かないようにと自分に言い聞かせました。

しかし、自殺願望は、それ以後も、思いも寄らぬときに、湧き上がってきたのです。命を絶ってこの耐え難い苦しみを終わらせようとする誘惑は、非常に強いものでした。しかし、治りたいとも思いました。急性疾患（突発的で重度の病気）にかかっていることは当時理解していませんでしたが、治せる病気だということは知っていました。そこで、神権の祝福をお願いしました。

夫は、わたしの悩みを知らないのに、祝福で多くのことを言いました。それを聞きながら、天の御父はわたしのことを御存じだということが分かりました。夫は、この試練は乗り越えられるとわたしに約束しました。即座に治るという答えではありませんでしたが、この悩みを克服できるよう天の御父が助けてくださることを、わたしは受け入れました。

夏が来ました。日の光がさんさんと降り注ぎ、日照時間が長く、真夜中であっても、外は暗くなりません。わたしはうれしくなり、本来の自分に戻ったように感じました。しかし、9月に入って日が短くなるにつれてうつが戻り、自殺願望が心に入り込んできました。わたしは



恐ろしくなりました。最初は、前の年と同じ努力をしました。さらに祈り、さらに運動し、何事にも、さらに一生懸命取り組んだのです。しかし、自殺への衝動はますます強く、激しくなりました。2か月間苦しんだ挙げ句、もう一冬自力で生き延びることはできないことを悟りました。天の御父が現代医学と医者という祝福を授けてくださっていることを認めました。回復するためには、自分からうつについて話し、医者<sup>の</sup>診断を受ける必要がありました。

わたしにとって助けを求めることほど難しいことはありませんでした。自分がうつで助けが必要なことを夫に話したとき、涙を抑えることはできませんでした。自殺という言葉<sup>を</sup>声に出して言うことができませんでした。夫は精神科医に予約を入れてくれました。

医者が薬を処方してくれたので、その冬は乗り切ることができました。多くの人々がそうですが、わたしも薬の適量を見つけるのに苦労しましたし副作用にも苦しみました。そのため夫や家族にさらに負担をかけることになりましたが、夫も子供たちもわたしを支えてくれました。

春が来ると、うつの重い症状はなくなり、薬を服用する必要もなくなりました。日がさんさんと降り注ぐ町に引っ越したのです。全て順調なので、精神疾患のことは忘れようと思いました。ところが、完全に治癒してはいなかったのです。過去に抱いていた自殺願望や自殺への気持ち、衝動に対して、罪悪感が湧き上がってきました。自殺願望があったことを10代の子供たちに知られたことに嫌悪感を抱きました。1年以上、人生を無駄にしたような気がしました。

それに、9月になり、特にまた日が短くなるにつれ、怖くなってきました。その頃のことが毎日、フラッシュバックするのです。重度のうつにまた悩まされるのではないかと不安になりました。しかし、主の御手がわたしの生活に注がれていることを理解しました。すばらしい医者のもとに導かれ、治療を始めることができたからです。心的外傷後ストレス障害(PTSD)にかかっていることも分かりました。この医者<sup>の</sup>指導により、PTSDの治療に取り組みました。

そして、奇跡を経験したのです。熱烈に祈り、救い主の贖い<sup>あがな</sup>を自分の生活に取り入れようと努力した後に、主はわたしの罪悪感を速やかに取り除いてくださいました。これははっきりと手に取るように分かりました。自分のせいでうつになったわけではないのだから罪悪感を抱く必要はない、と主の声<sup>が</sup>説明してくれました。イエス・キリストが贖いの力によって、わたしの重荷を担ってくださったのです。光に満たされ、再び希望が湧いてきました。

命を脅かすような病気という試練をどうしてわたしが受けなければならなかったのか、その理由が全て理解できたわけではありません。全て覚えています。精神的、肉体的な苦痛はなくなりました。毎日、家族と医者に感謝し、この地上で過ごす時間があることに感謝しています。この病気のおかげで、周囲の人々に対する思いやりと愛を身につけることができました。情緒的にも霊的にも成長し、他の方法では学べなかったような知識を得ました。天の御父と救い主を身近に感じる貴い霊的な経験をしました。この経験のおかげで、わたしは人生がいとおしく思えるようになりました。■





### 主はわたしたちを 癒やすことが おできになる

「わたしたちが現世で直面する肉体的な痛み、霊的な傷、苦悩や心痛、病や弱さのうち、救い主が経験なさらなかったものは一つもありません。……主は手を差し伸べ、触れ、助け、癒やし、強め、わたしたちが自分で』なれる以上の者にしてください。自分の力では決してできないことをできるようにしてください。」

十二使徒定員会  
デビッド・A・ベドナー長老  
「容易に重荷に耐えられるように」  
『リアホナ』2014年5月号、  
89-90

## 自殺予防安全計画の立て方

公認臨床ソーシャルワーカー  
ダグ・トーマス

**安**全計画を立ててください。自分を傷つけなくなったら、ステップ1から始め、次のステップ、さらに次のステップへと進みます。計画を立てるのに最適な時期は、危険な状態に陥る前です。計画は、例えば、携帯の中や、すぐ利用できる場所に入れておきます。記入しやすいテンプレート付きのウェブサイトやアプリがあります。計画は、専門家に助けをもらって立ててもいいですし（ステップ6参照）、以下の提案を読んで自分で立てても結構です。

### 1. 兆候に気づく。

危険な状況に陥りそうなことを知らせる兆候には、どんな考え、気分、行動があるでしょうか。自分の言葉で書いてください。例えば、「全ての活動をやめてひたすら眠りたいと思うとき」、「自分は人に迷惑をかけているという考えが頭から離れないとき」、「いらいらして落ち着かず、例えば、苦痛から逃れるために、今すぐ何かをしなければならないと感じるとき」。こうした兆候に気づいたら、それは、立てた計画に従うべき時です。

### 2. 自分を落ち着かせ、慰めようと努力する。

自分を傷つけようとする考えや衝動に駆られたときに、そのような考えを思いとどめたり、衝動を和らげたりする活動のリストを作成します。例えば、散歩に出かける、温かい風呂に入る、運動する、祈る、日記を書くなどです。

### 3. 生きる理由について考える

つらくて、良い気持ちを感じられなくなることもあります。好きな人、好きなこと、感謝の

気持ちを感じた祝福を思い出すためのリストを作ってください。

### 4. 人に助けを求める。

今後の安全計画を通して、危機的な状態にあるときに喜んでいつでも助けてくれる人の名前を（電話番号と一緒に）幾つか書き出してください。友人やワードの会員、家族などがよいでしょう。

### 5. 安全な環境に身を置くようにする。

これは、自分を傷つけるのに使いそうなものを誰かに処分してもらったり、気分が変わるまで別の場所に行ったりすることです。公園、ジム、映画館など、安全で気が紛れ、周りに他の人がいる環境のリストを作ってください。

### 6. 自分を傷つけたい気持ちがなくならない場合は専門家と連絡を取る。

臨床医、救急救命室、電話相談の名称と電話番号、所在地を書き出してください。Suicide.org/international-suicide-hotlines.htmlは、数多くの国々のホットラインを紹介しています。例えば、合衆国の番号は、1-800-273-TALK です。

### 7. 以上の方法を全て行ってもまだ不安な場合は、緊急サービスに電話をかけるか、または最寄りの病院に行って助けを求めてください。







# 「わたしの名によって 集まる」

主はワード／支部評議会を通じて、  
わたしたちが愛と一致をもって仕え、教え、導くよう定められました。

ジェーコブ・R・ジョーンズ

つい先頃、わたしはある大好きな家族の家庭の夕べに参加しました。若い夫婦で、子供は女の子が一人です。ピシヨップとして、一つには御霊の導きに従い、また大部分はこの若い父親のことを案じる母親と姉の依頼に応じて訪問したのです。母親も姉もその家庭の夕べに同席していました。主はこの家族に働きかけ、その生活に大きな変化をもたらし、再び、福音と教会の祝福にあずかせようとしておられました。しかし、その日、何かが既に起こっていました。

何か月もの間、この若い父親は、家族を養うことに強い不安を感じてきました。雇用契約が間もなく終了することになっていて、別の州に引っ越すべきかどうか妻と話し合っ  
て判断している最中だったのです。それは家族に大きな変化が訪れることを意味して  
いました。その日、この父親は大いに期待していた財政援助が受けられないことを知ったの  
です。非常にショッキングな知らせでした。

わたしがアパートに着いたとき、この父親の顔には深い落胆の色が表れていました。家族を養う責任と、ありがたくない知らせが、この若い父親の両肩に重くのしかかっていた。

レッスンとして、妻は押しつぶされそうな気持ちに対処するための聖文を1章選んでいました。父親はその1章を全部読みました。その言葉はイザヤ書第55章です。

「かわいている者はみな水のもとにきたれ。金のない者もきたれ。来て買い求めて食べよ。あなたがたは来て、金を出さずに、ただでぶどう酒と乳とを買い求めよ。  
……

わが思いは、あなたがたの思いとは異なり、わが道は、あなたがたの道とは異なっていると主は言われる。」  
(1節, 8節)





「……二人または三人がわたしの名によって  
集まっている所には、見よ、わたしもその中にいる……。」  
(教義と聖約 6:32)

それから、この聖句は自分たちに何を意味するか家族で話し合いました。この家庭の夕べが家族評議会に変わったとき、その小さな部屋は主の御霊に満たされました。この若い父親は自分が抱えている恐れと不安、望みを家族に打ち明け、皆が愛と関心を伝え合いました。皆で、何をなすべきか、どのような選択肢があるか、またどのような行動が取れるか話し合いました。

とても率直な話し合いが行われました。意見の相違もいくらかありました。わたしは感銘を受けながら、耳を傾け、見守りました。最終的にこの夫婦は一致し、祈りを通して主とともに決定を下すべきだという結論に達しました。わたしは二人を支え励ます言葉をかけました。

### 主が啓示をお与えになる方式

記憶する限り、あの夜、あの小さなアパートで、あの謙遜な、必死に努力する家族とともにいたときほど、強く主の御霊を感じたことはありません。それは昔、主がその弟子たちにお与えになった約束の成就でした。「一つのことについて二人または三人がわたしの名によって集まっている所には、見よ、わたしもその中にいる、とわたしが弟子たちに言ったように、まさにそのようにわたしはあなたがたの中にいるのである。」(教義と聖約 6:32)

救い主がお与えになったその言葉は、単なる良い助言でも、単なる慰めの言葉でもありません。若い預言者ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリにとって、その救い主の言葉は、

神の王国において啓示と導きを得、決定を下すための教義と方式を示すものだったのです。

主はあの夜、あの家族評議会のただ中におられました。あの家族は祈り、聖文を学ぶことで、主の御霊を招きました。同じ目的の下に一つとなりました。互いに対する愛に満たされました。最善のアイデアと経験を持ち寄り、家族と主の前で提示し、主の導きを求めました。一つとなって決定を下し、行動を起こしました。

### 教会は評議会によって管理されている

教会の手引きから評議会の教義を学ぶことができます。

「主の教会は、中央、地域、ステーク、ワードの各レベルにおける評議会によって管理されている。これらの評議会は教会の秩序を保つうえで基盤となる。

各レベルで鍵を持つ神権指導者の指示の下で、指導者は個人や家族の福利に関して評議する。」<sup>1</sup>

この教会の全てのレベルで、わたしたちは救い主が弟子たちやオリバー、ジョセフに教えられたと同じ、一つとなって評議するという原則に基づいて管理しようと努めています。

それぞれのワードには「ビショップリック、ワード書記、ワード幹部書記、大祭司グループリーダー、長老定員会会長、ワード伝道主任、および扶助協会、若い男性、若い女性、初等協会、日曜学校の各会長によって構成される」<sup>2</sup>ワード評議会があります。

このワード指導者の集団が行う業は全て、最終的には、「個人が証をはぐくみ、救いにかかわる儀式を受け、聖約を守り、献身的なイエス・キリストの弟子となれる」よう助けることに焦点が当てられています。<sup>3</sup>

皆さんは「助言の中に安全がある」という言葉を聞いたことがあるかもしれません。<sup>4</sup>なぜでしょうか。一つの理由としては、「一人で考えるよりも多くの人の知恵を寄せ集めた方がよい」という単純な事実が挙げられます。わたしたちにはそれぞれ、独自の物の見方や一連の経験、考え方があります。

教会手引きは、ワード評議会を通じて評議会の各構成員の独特の物の見方を最も効果的に引き出すための方法を教えています。「集会の中で、ビショップは検討するそれぞれの議題について説明をするが、通常、話し合いの内容を聞くまでは、どのように解決するかは決定しない。ビショップは意見を押しつけずに話し合いを促す。質問を投げかけ、



特定の評議会の構成員の意見を尋ねてもよい。ビショップは話によく耳を傾けてから決定を下す。このような話し合いを進めるうちに靈感へと導かれていく。」<sup>5</sup>

簡単に言えば、各人の持つ才能や能力、物の見方を持ち寄るということです。ともにいて御霊によって導き、欠けた部分を補い、わたしたちの仕えている会員に何が必要かを知ることができるよう、わたしたちは主に嘆願します。わたしたちは家族や個人に何が必要かを話し合い、一致して決定を下すことができるよう努力します。そのうえで業に取り組み、ワードの会員を祝福してくださるよう主に祈ります。

#### ワード評議会とともに協議する

先ほどお話した若い家族の家庭の夕べに参加する8か月前、ある日曜日の朝にワード評議会が開かれました。祈りで始め、個人や家族が祝福と福音の儀式を受けられるよう助けることに関するビデオを見ました。このビデオを見て心に思い浮かんだ家族がいるかどうか、わたしは評議会の出席者に尋ねました。その結果、先の家族について話し合うことになったのです。わたしたちはこの家族を愛していました。どのような召しを与えればよいか、父親がメルキゼデク神権の聖任を受け、夫婦が神殿の儀式を受けられるよう、わたしたちにどんな助けができるかを話し合いました。

ビショップとして、わたしは幾つかの割り当てをしました。話し合いはほとんど終わったように思いましたが、何か今一つ釈然としないものがありました。最後にこう言ったのは若い女性の会長です。「話し合いの進め方が早すぎると思います。例えば、家庭の夕べや聖文研究、祈りなど、この家族については、基本的な事柄に焦点を当てる必要があると思います。」それを聞いたときに、「今一つ釈然としない」

気持ちは消え去りました。この姉妹は、若い女性の組織のためではなく、この家族に対する愛のゆえに、意見を言ったのです。その瞬間、御霊がわたしたちに彼女の助言のとおりだと証しました。

この姉妹の意見がきっかけとなって、話し合いが再開しました。わたしたちはどんな助けをすればこの家族が聖文研究や祈り、家庭の夕べを行うことを習慣にできるようになるか、話し合いました。この若い父親の姉がワード宣教師として奉仕していたので、ワード伝道主任は、この姉妹やホームティーチャーと協力してこの家族が定期的に家庭の夕べを開けるよう助ける割り当てを受けてくれました。妻とわたしは、『家庭の夕べアイデア集』と『賛美歌』を彼らの家に届けました。

最も一貫した助けを与え、常に力の源となったのは若い父親の母親と姉でした。二人は常にこの家族との家庭の夕べに参加し、最終的には、わたしも参加の特権にあずかったあの大切な家庭の夕べを開く糸口を作ってくれたのです。

手引きにはこう記されています。「男性も女性も、自分の意見が評議会の全構成員に尊重されていると感じるようにすべきである。……女性の視点は男性と異なることがあり、会員の必要への理解と対処に関して重要な見解を与えてくれる。」<sup>6</sup>若いビショップとして、わたしは自分よりも豊富な知恵と



「あなたがたが<sup>はらから</sup>同胞のために務めるのは、  
とりもおさず、あなたがたの神のために  
務めるのである……。」(モーサヤ2:17)

人生経験、洞察を持つ初等協会や若い女性、扶助協会の会長とともに評議会の席に座ります。そのような姉妹たちの多くは、キリストのような特質を持ち、良い父親、神権者となるための方法まで教えてくれる非常に優れた教師なのです。

わたしは教会の姉妹たちに心から感謝しています。姉妹たちが評議会で、自分たちは意見を聞いてもらっていないとか無視されているなどと感じることがないように願っています。ワード評議会の会員は、平等の立場にあってこそ機能します。ビショップに与えられている管理者としての鍵は、秩序、組織、責任の割り当てに関連するものであり、支配者としての立場や霊的な優位を意味するものではありません。

## 一 致

手引きには一致することの大切さが述べられています。「ビショップは皆が率直に意見を述べた後で決定を下すか、顧問とさらに協議してから決定することができる。ビショップが決定を下した後、評議会の構成員は一致と調和の精神でそれを支持する。

重要な決定に対して、評議会の構成員が、不確かな気持ちを強く感じる場合、ビショップはさらに話し合い、霊的な確信と一致を得るために次の評議会までその件を留保することができる。」<sup>7</sup>

一致は、評議会で話し合うことから安全が生まれるもう一つの理由です。わたしたちは個人として、どのような行動を取ればいいのか分かって、最終的な結果に飛びつくことがあります。主の最終的な目標はわたしたちが行動計画を立てることではないことを、忘れてしまうのです。主の目標は、神の子供たちが主を知るようになることです。主が弟子たちのためにどんな祈りをされたか、皆さんは覚えているでしょう。

「永遠の命とは、唯一の、まことの神でいますあなたと、また、あなたがたがかわされたイエス・キリストとを知ることであります。……

わたしは彼らのためにお願いします。わたしが願っているのは、この世のためではなく、あなたがわたしに賜った者たちのためです。彼らはあなたのものなのです。……

……聖なる父よ、わたしに賜った御名<sup>みな</sup>によって彼らを守って下さい。それはわたしたちが一つであるように、彼らも一つになるためであります。……

わたしが彼らにおり、あなたがわたしにいますのは、彼らが完全に一つとなるためであり[ます]。](ヨハネ17:3, 9, 11, 23)

主の目的とするところは、わたしたちが御父のものとなること、すなわちわたしたちが主や天の御父、周囲の人々と一つになることです。そこに至る過程は、最終的な結果と同じくらい大切です。評議会は神が定められた過程の一部です。この過程を経ることで、一致できるようになり、わたしたちはキリストのものとなります。主はこう言われました。「一つとなりなさい。もしもあなたがたが一つでなければ、あなたがたはわたしのものではない。」(教義と聖約38:27)

この戒めは試金石として用いられていると言うこともできます。例えば、主はこう言われたのかもしれませんが。「あなたがたが互いに一つとなり、わたしと一つになっているならば、あなたがたのわたしのものであることが分かるであろう。」

引越しは家族に祝福と一致をもたらすという啓示を、家族の父親は受けるかもしれませんが。しかし、妻や子供たちの一致がなければ、この計画は期待どおりの結果をもたらさないかもしれないのです。







ビショップはワードの伝道計画について啓示を受けるかもしれません。しかし、ワード評議会がこの啓示に関して一致していなければ、祝福はもたらされず、ビショップはどこが悪かったのか分からずじまいになるかもしれません。

十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン会長は、大管長会評議会と十二使徒定員会がどのように機能するかについて、次のように述べています。

「15人が聖なる使徒職に召されているということは、わたしたち教会員が大いに守られているということになります。なぜでしょうか。これらの指導者の決定が全会一致でなければならないからです。全会一致の結論を導き出すために、御霊がこの15人の人々にどれほど働きかける必要があるか、皆さんは想像したことがあるでしょうか。この15人は、教育の面でも、職業の面でもその背景は多様です。数多くの事柄について、意見も様々に異なっています。わたしを信頼してください。預言者、聖見者、啓示者である、この15人は全会一致になったときには、主の御心<sup>みこころ</sup>が何であるかを知ることができます。」<sup>8</sup>

主が、細部にわたって、わたしたち一人一人の生活に関心を持っておられることを証します。救い主が御自分の子供を一人救うためにどれほど苦勞<sup>しごべ</sup>して僕の一人を送られるかに、わたしはいつも驚かされています。天の御父の子供たちに心を配る責任が評議会に与えられていることに、わたしは心から感謝しています。■

筆者はアメリカ合衆国カリフォルニア州在住です。

家族評議会についてさらに学ぶには、M・ラッセル・バラード長老「家族評議会」『リアホナ』2016年5月号をご覧ください。

#### 注

1. 『手引き 第2部——教会の管理運営』4.1
2. 『手引き 第2部』4.4
3. 『手引き 第2部』4.4
4. ヘンリー・B・アイリング管長, “Listen together” (ブリガム・ヤング大学ディボーションナル, 1988年9月4日) 2, speeches. byu.edu 参照
5. 『手引き 第2部』4.6.1
6. 『手引き 第2部』4.6.1
7. 『手引き 第2部』4.6.1
8. ラッセル・M・ネルソン長老「預言者を支持する」『リアホナ』2014年11月号, 75

#### ワード評議会に奉仕していない場合

- 訪問教師またはホームティーチャーとして、訪問先の家族のために祈ることができます。その家族に心を配ることができます。担当家族の状況について指導者に報告する際に、その情報がワード評議会に採り上げられ、評議会の会員がその家族の必要に取り組むに当たって、御霊に導かれるよう祈ることができます。
- 定期的にワード評議会集会<sup>はんりよ</sup>に伴侶を送り出している人もいます。特に、自分一人ですべての子供たちに教会へ行く準備をさせなければならない場合、夫または妻の不在について不平を言いたくなることもあるかもしれません。伴侶が御霊に導かれるように、伴侶の奉仕を通じて、天の御父の子供たちがキリストのもとに導かれるように、また、あなたの家族が祝福を受けるように祈るとよいでしょう。
- 召しを受けたとき、あるいは聖餐<sup>せいさん</sup>会で話すよう割り当てを受けたときに、その奉仕の機会は評議会の僕たちを通じて主から来たものだというのを、あなたは知ることができます。

## 高原の中を力強く進む

**八** イキング、サイクリング、スキーなどの野外活動は、わたしの人生で大事なことです。最近、野外運動に充てている時間が現世の生涯とよく似ていることに気づきました。わたしは一時または一時期に、ある特定の活動を通して体力と技能を磨くことに集中する傾向があります。そして、自分の選びや巡り合わせによって、あるいは誰かの勧めがあれば、別の活動に切り替えます。特定の運動でどんなに体を鍛え、自信をつけていても、新しい運動を始めると、わたしは息切れし、技能が足りず、「今まで感じたことのない」筋肉があることを思い知らされます。そして、その新しい運動に打ち込み、必要な耐久力と技能を再構築しようとするのです。

同じように、わたしたちは人生の中で特定の習慣を築くことに焦点を当てて、それに満足してしまうことがあります。すると、自分の選びや巡り合わせによって、あるいは誰かに勧められることで、快適で安楽な生活から今度はチャレンジと成長の機会をもたらす時期へと変わります。

人生のチャレンジに対処するのは難しいことです。ニーファイは次の言葉でわたしたちを励ましています。

**特**定の運動でどんなに体を鍛えて、自信をつけても、新しい運動を始めると、わたしは息切れし、技能が足りず、「今まで感じたことのない」筋肉があることを思い知らされるのです。

「したがって、あなたがたはこれからもキリストを確固として信じ、完全な希望の輝きを持ち、神とすべての人を愛して力強く進まなければならない。そして、キリストの言葉をよく味わいながら力強く進み、最後まで堪え忍ぶならば、見よ、御父は、『あなたがたは永遠の命を受ける』と言われる。」(2 ニーファイ 31:20)

天の御父が偉大な幸福の計画について話されるのを聞き、いつまでも前世にとどまっていたならどんなにすばらしかったらと思うことが、ときどきあります。しかし、進歩するためには「教室」、すなわち地球が必要でした。わたしたちはそこで死すべき状態をじかに体験するのです。

長年にわたり、天の御父の計画が

真実であり必要であることを証してき<sup>あかし</sup>ましたが、新しい機会や時折苦痛を伴う経験によってこの教えがわたしの心に刻まれてきました。わたしたちは同じテーマに何度も繰り返し触れながら、一度に少しずつ福音の真理を学んでいるように思います。ときどき「今回はどれくらいの深さまで掘っていくのだろう」と自問することがあります。あるいは、運動のように、「これ以外にどんな筋肉を鍛えていく必要があるだろう」と考えるのです。

それでもやはり、人生の季節が移り変わり、さまざまなチャレンジに遭うときに、主がわたしに必要な経験を与えてくださることを知っています。そして、力強く進んで行くときに主にさらに似た者となり、主のもとに戻ることを学ぶのです。■

クリストファー・ドレーク  
(アメリカ合衆国、カリフォルニア州)





## 今度は実際に行動しました

わたしはすっかり擦り切れたチャイルドシートに娘を座らせてシートベルトを締めました。家計が苦しかったので、お下がりをもたらえたことに感謝しました。娘が前に使っていたチャイルドシートが小さくなったので、ちょうどよい補助座席でした。きれいに晴れ渡ったその日に、用事を済ませることを楽しみにしていました。

わたしたちが最初に車を止めたのは図書館でした。娘のシートベルトを外しながら、隣に停車している車に乗っていた若いヒスパニック系の女性に目が留まりました。まだ自分を支えられない赤ちゃんが後部座席に直接座り、ボールのように丸まっています。若い母親はその小さな体に合わせてシートベルトを締めようと苦戦していました。わたしは二つのことを考えました。

「彼女は赤ちゃんのためのチャイルドシートがないんだわ。うちのをあげられるわね。」

ところが、その後、自分にこう言い聞かせました。

「彼女は英語を話さないのではないかしら。彼女の気分を害してしまうかもしれないわ。うちのチャイルドシートは随分擦り切れているから、もらいたくないかもしれないわね。もし彼女が欲しいと言ったとしても、うちは代わりのものをどうやって手に入れればいいのかしら。」

あれこれ考えたあげく、わたしは何もしませんでした。

その女性は運転席に乗り込み、走り去って行きました。

図書館のドアにたどり着く前に、わたしは後悔の念に襲われました。間違った選択をしたことを知っていました。そして、もうそれをやり直す

ことができません。

図書館のドアを引きましたが、びくともしません。図書館はまだ開いていなかったのです。わたしは残りの用事を済ませながら、先ほどの場面を何度も思い出しました。自分が何もなかったことがいつまでも気になったのです。

わたしは最後の用事を済ませた後、もう一度図書館に行くことにしました。さっきと同じ場所に駐車すると、驚いたことに、同じ母親と息子が隣に駐車していました。心にのしかかっていた重荷が一気に軽くなりました。

今度は躊躇せず行動しました。わたしは娘のチャイルドシートを外して、若い母親に近づきました。彼女は英語を話しませんでした。身ぶり手ぶりで、彼女の赤ちゃんとチャイルドシートと彼女の車を指さしました。わたしたちは一緒に車にチャイルドシートを取り付けました。

使い方を教えているとき、わたしは唯一知る必要のあるスペイン語を既に知っていることに気づきました。すなわち、「グラシアス」(ありがとう)です。

助けの必要な姉妹を助けるチャンスをもう一度与えてくださった<sup>あわ</sup>憐れみ深い天の御父に対し、わたしは感謝の気持ちでいっぱいになりました。

済ませる用事のリストに、もう1件追加しました。近所の中古品特売店です。娘のシートベルトを締めて、店まで慎重に運転しました。店の奥の隅で床の上に置かれていたのは、先ほどわたしがあげたものと全く同じチャイルドシートで、同じように擦り切れていました。わたしはそれを購入し、朝のさまざまな出来事に驚き、謙遜な思いになっていました。

救い主の優しくかつ効果的な教え方を通して、「聖霊の促しを最初に感じたときに従う」という教訓がわたしの心に深く刻まれました。■

テレサ・ウィーバー  
(アメリカ合衆国、テキサス州)

今度は躊躇せず行動しました。

わたしは身ぶり手ぶりで、彼女の赤ちゃんとチャイルドシートと彼女の車を指さしました。わたしたちは一緒に車にチャイルドシートを取り付けました。



## 見えなかった求道者

**わ**たしにはすばらしい両親がいます。母は教会員でした。父は会員ではありませんでしたが、教会の活動に参加するわたしたちを応援してくれました。成長していく中で、わたしは父が教会に入るよう毎日祈っていました。

16歳で祝福師の祝福を受けたとき、父が教会に入る助けになるような良い影響をわたしが与えるだろうという約束を受けました。わたしは、セミナーで学んでいる事柄について父に話しました。神の王国に入るためにはバプテスマと確認を受ける必要があると教えている聖句について話しました(ヨハネ3:5参照)。神殿の祝福によって家族が永遠にともに住めるようになることを、涙ながらに伝えました。

わたしはアメリカ合衆国アリゾナ州の小さな学校に通っていました。クラスでわたしだけが教会員でしたが、高校時代にはすばらしい友達がありました。当時、デビッド・O・マッケイ大管長(1873-1970年)が預言者でした。「全ての会員は宣教師〔となりましょ

う〕』と大管長が勧めるのを何度も聞きました(『歴代大管長の教え——デビッド・O・マッケイ』6章参照)。ある夏、妹のマリリンとわたしは数人の友達に、宣教師のレッスンを受けるよう勧めました。彼らは2回ほど受けましたが、その後興味がなくなりました。わたしたちはがっかりしましたが、友達としての関係は終わりませんでした。

その夏の終わり、わたしは大学に行くため、家を離れました。春の学期の最中、父から手紙が届きました。彼はこう書いていました。「すばらしい娘たちのいる家庭の家長であることは最高の特権だ。福音に対するおまえたちの強い証<sup>あかし</sup>や、去年の夏、他の若い人たちと集会をしたり、彼らに関心を寄せたりする姿を見て、わたしは本当に教会に興味を持ち始めたよ。わた

しが家の外でペンキ塗りをしている、おまえたちが中でそういう集会を開いている間、わたしは十分長い間外から眺めてきたことを悟ったんだ。おまえたちの母さんがいること、母さんが教会の中で育ったこと、そしておまえたちをこのように育ててくれたことに、わたしは何度も天の御父に感謝してきた。」

父は間もなくバプテスマを受け、その1年後、アリゾナ州メサ神殿でこの世と永遠に渡って結び固められました。

友達も誰も教会に入りませんでした。わたしたちの人生で最も大切な人が教会員となったのです。預言者の勧告に従うとき、どんな祝福を受けるかは決して分かりません。■

ダイアン・ミッチェル・コール  
(アメリカ合衆国、アリゾナ州)

**わ**たしが家の外でペンキ塗りをしている、おまえたちが中でそういう集会を開いている間、わたしは十分長い間外から眺めてきたことを悟ったんだ。





# エティエネを探して

**専**任宣教師として伝道に出る数週間前、わたしは教会員ではない旧友の家を訪ねました。数分だけのつもりでしたが、雨が激しく降り始めたため、予定より長い訪問になりました。そこで、友達と友達のお母さんとわたしが座って、教会や間近に控えている伝道について話し始めました。

リオデジャネイロやベロオリゾンテ、ブラジリアなどの都市に赴任するかもしれないわ、とわたしは説明しました。

どういうわけか、友達のお母さんは、リオデジャネイロ近郊の町に住む自分の姉妹の住所をわたしに渡してくれました。もしそちらに赴任することがあれば、ぜひ行って訪問してほしいと言われました。

1982年7月7日、わたしは伝道に出ました。さまざまな町に赴任しました。その一つが、友達のおばさんの

住んでいる場所の近くでした。その女性を訪問することを考えましたが、わたしが担当する区域内の住所ではありませんでした。自分で訪問したいと思っていたので、その区域を割り当てられている宣教師には伝えませんでした。

当時、宣教師の奉仕は1年半でした。友達のおばさんとその家族に会わないまま、年月が過ぎてしまいました。

何年も後に、ワードの交流活動に出席していると、教会員ではないあの友達を見かけました。彼はある親戚に誘われて来たことが分かりました。その親戚は、最近バプテスマを受けて教会に入ったエティエネという名のおばさんでした。そして、エティエネおばさんがリオデジャネイロ州からわたしのワードに転入して来て間もないことをわたしは知りました。わたしは友達の親戚であるエティエネおばさんが大好

きになり、リオデジャネイロでの思い出について一緒に楽しく話しました。決まり悪いことに、伝道中ずっと会いたかった女性がエティエネおばさんであることが判明しました。つい最近、思いがけず夫を亡くした後、おばさんはバプテスマを受けたのでした。

幸い、わたしが他の宣教師に訪問を勧めなかったことをおばさんは赦してくれました。しかし、福音の祝福を受けられるようになるまでの年月が長く、時間がかかったことを彼女は残念に思っていました。

このような後悔の念は帰還宣教師だけでなく、友達を教会の活動に誘うことだったり、宣教師に紹介することであつたりしても、わたしたちが御霊の促しに聞き従うことを怠るなら、どんな人も味わうものです。主のもとに行つて、靈感を求めましょう。主は御霊の静かな細い声を通して語ってくださいます。わたしたちが献身的に、愛をもって伝道するのに必要な助けを与えてくださるのです。■

エルソン・カルロス・フェレイラ  
(ブラジル、パラナ)



# 中立地帯は存在しない

メディアが  
わたしたちに及ぼす影響

エイシア・タン

**テ**クノロジーにあふれる現代にあってわたしたちは、これを見ろ、あれを読め、これを聴け、とさまざまな選択肢の攻撃を受けています。わたしたちの住むこの社会はメディアや娯楽にあふれ、それらがわたしたちの信条や考え、行動に及ぼす影響はすぐには認識できないものの、その力は強力です。心を満たすために自ら選ぶものによって自分自身が形作られます。つまり、いつも考えているものになっていくのです。わたしは大学院でメディアが及ぼす影響についての研究を行いました。その驚くべき結論は、わたしたちは自分で選んだメディアから、良い影響か悪い影響のどちらかを必ず受けるというものでした。

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は次のように説明しています。「科学技術そのものに善悪の要素はなく、むしろ、科学技術によって実現したその用途が、善か悪かを定める最終的な指標となるのです。」<sup>1</sup>わたしたちは科学技術を拒否するのではなく、生活を豊かにするように用いる必要があります。

以下のことを行いながらメディアの力を上手に利用することで、思いと行いをさらに良いものとすることができます。





(1) 自分がメディアの影響を受けやすいことを認め、メディアがどのように人に影響を与えるかを理解する。

(2) 良いメディアを見つけて、それを選ぶ。

### メディアが与える影響

メディアの影響に免疫のある人はいません。精神と情緒に影響を与えることを意図して作られたメディアにふけてしまうと、潜在意識下で及ぼし続ける影響から逃れることはできません。そしてそれは映画が終わった後、本を閉じた後、歌が終わった後でも長期に及ぶのです。メディアの影響を受けることはないと思っている人が最も強い影響を受けている場合がよくあります。影響があることを否定しているため、無防備になっているからです。舟に水漏れがあれば、それに気づいているかどうかにかかわらず浸水は続きます。メディアも同様に、わたしたちが対処してもしなくても、わたしたちの思いに影響を及ぼし続けます。

日々の生活におけるストレスを和らげるために利用する娯楽のメディアも、わたしたちの思いに影響を与えます。日常の問題から一時癒やされるために、映画、本、テレビ、雑誌、音楽など、娯楽をメディアに求めることはよくあることです。緊張を緩めるために娯楽のメディアに頼るとしても、自分の標準を緩めてはいけません。その瞬間こそ、自分の心に何を取り込もうとしているのか気をつけなければ

ならないのです。

ある人たちは娯楽を目いっぱい楽しもうとして、メディアが伝えるどんなメッセージをも無意識に受け入れ、結果として、その娯楽が暗示する考え方によって、自分の知覚が影響を受けることになります。映画評論家たちは、映画が持つこうした効果を利用することについてこう述べています。

「映画における『真実』は、映画全体の感じやムード、雰囲気、見る者を引き付けて離さないよう、奇妙な、あるいは現実離れた内容、異時代感覚、奇抜な登場人物を、いかに映画の

**わたしたちの責任は、  
メディアを全て避けることでも、  
悪いメディアを  
ただ拒否することでもなく、  
健全で心高めるものを  
選ぶことです。**

始めと、また全体を通して、説得力をもって描写できるかどうかにかかっています。映画製作者がこの見せかけの『真実』を作り出すのに優れていれば、わたしたちは信じられないという自分の気持ちを自ら押さえつけて、疑いを

捨て、合理的な考え方を捨てて映画の空想の世界に入って行くのです。」<sup>2</sup>

「うそだ」という思いをなくしてしまうと、メディアが描く価値観、期待、信条を受け入れやすくなります。そのようにしてメディアはさりげなく、わたしたちの思いに影響を及ぼすのです。しかし、こうした影響の中に、福音の原則に一致しない考え方を受け入れてしまう危険性があります。

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老は娯楽のメディアについて次のような勧告を与えています。「娯楽 (amusement) という言葉のラテン語本来の意味を御存じでしょうか。『欺く意図をもって心をそらすもの』という意味です。」<sup>3</sup> 時に、わたしたちは気晴らしが欲しいと思うことがあります。現実の問題から心を紛らわすものをメディアに求め、そこから受けるものが何であれ、それを信じさせてくれるものに頼ります。それが真実だろうとうそだろうと、内容に真実味があればあるほど、楽しみも増します。

社会心理学者のカレン・E・ディルは次のように述べています。「わたしたちはフィクションの世界に入り込むと、自分の考え方や信念がその物語の描く考えや主張にもっと合うように変わっていきます。つまり、信じられないという思いを一時棚上げするのです。そうするときわたしたちは、仮想世界でドラマ化された思想を無意識に受け入れ、そのような信念や考え方に基づいて行動するようになる

のです。画面で見たことが、自分でも気づかない変化や反応を引き起こすことがよくあります。このようにしてメディアの仮想世界はわたしたちの現実観を形作ります。」<sup>4</sup>

楽しませるといふメディアの目的を達成させることで、わたしたちは自分の通常の理にかなった考えをメディアの提示する考えと入れ替えてしまうかもしれません、それがひいては自らの信念と行動の変化へとつながります。十二使徒定員会のデビッド・B・ヘイト長老（1906 - 2004年）はこう述べています。「行いは思いから生み出されるために、普段から考えていることが行動に現れるのです。」<sup>5</sup>

毎日の生活でメディアの悪い影響を受けないようにするには、心を高めるメディアを選び、メディアからの影響をどれほど受けやすいのかを認識す

る必要があります。わたしたちの思いに影響を与えるメディアは、行動にも影響することができるのです。ベニヤミン王からの次の勧告は今日のわたしたちにも当てはまります。「自分自身や自分の思い、言葉、行いに注意を払〔いなさい。〕」（モーサヤ4：30）

### 有益なメディアを選ぶには

わたしたちの生活に及ぼすメディアの影響を理解することで、身の回りのメディアに対して、自覚ある対応ができます。自分が何を<sup>みな</sup>選ぶかは、御霊と身の回りにある良いものに対する感性を決定づける重要な役割を果たします。わたしたちが決定を下すたびに、天父により近づいたり、離れたりするのです。

キリスト教徒の作家C・S・ルイスはこう記しています。「余暇は、それが単なる遊びであっても重大な関心事

なのです。宇宙に中立地帯は存在しません。ほんの小さな場所も、ほんの1秒の時間でさえも、神あるいは、それに反するサタンに属しているのです。<sup>6</sup>

わたしたちの責任は、メディアを全て避けることでも、有害なメディアをただ拒否することでもなく、健全で心高めるものを選ぶことです。幸運なことに、メディアが提供する膨大なコンテンツの中には、伝統的な価値観を守り、尊重している健全で良いものが多くあります。また、希望や幸福、愛、親切、喜び、そして赦し<sup>ゆる</sup>といったメッセージを伝える本や映画、歌などが非常にたくさんあります。

十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老は次のように述べています。「今日の巨大メディアが発信するメッセージの量は膨大で、しかもピンからキリまでいろいろなものがあります。有害で節操のないものもあれば、積極的に生産的な情報を多く提供しているものもあります。……ですから、最大のチャレンジは、見聞きするものを知恵を使って選択することなのです。」<sup>7</sup>

昔好きだったテレビ番組やシリーズ本の道德基準が下がっても、見たり読んだりすることをやめるのが難しいことがあるかもしれません。あるいは、大変人気があったり、魅力的な新作の映画を見ても、何も害がないと思うこともあるでしょう。しかし、ほん

の少しでも妥協すれば、基準をさらに下げるとはもっと簡単になり、ついには、完全な無節制





に陥り、そこから戻るのは難しいと気づくのです。ですから、自分自身に標準を定め、生活の中で健全なメディアだけを取り入れることによって、より御霊を受け取ることができます。

メソジスト派の創始者であるジョン・ウェズリーが1725年に母親のスザンナから受けた次の助言は、時代を越えて今でもわたしたちに当てはまります。「あなたが楽しんで行っていることが神の律法にかなうものであるか、かなわないものであるかをどう判断しますか。〔つまり、あなたの行いが罪のないものであるか罪あるものであるかということです。これを判断の基準にしてください。〕自分の判断力を弱め、良心の感覚を鈍くさせ、神を感じにくくさせるもの、あるいは霊的なものに対する喜びを奪うものは何でも、つまり心よりも肉体に力と支配力を与えるものは何であろうと、それ自体がどれほど無害なものであろうと、それはあなたにとって罪となるのです。」<sup>8</sup>

## 選ぶ力

道徳的に心高めるメディアを選ぶことによって、御霊を招き、自分自身を強めることができます。イエス・キリストの福音は、わたしたちには自分自身で行動する力が与えられていると教えています(2ニーファイ2:26参照)。「徳高いこと、好ましいこと、あるいは誉れあることや称賛に値すること」(信仰箇条1:13)を尋ね求めることによって、心と思いが開いて、正しい行いにつながる思いや態度



を受け入れることができるようになります。そのような努力をすることで、わたしたちは祝福を受けて悪の力の影響から守られるのです(ヒラマン5:12参照)。

主はメディアにおける科学技術のめざましい発展という祝福を下さいましたが、同時に、それらをどのように利用するのかを選択する責任も与えられました。これまでの研究や経験から、メディアの影響を認めるかどうかは別として、その影響について見てきました。わたしたちに与えられている選択肢は、自分を道徳的におとしめるものか、または健全で高めてくれるものかのどちらかです。自分で選択できますが、それよりも大事なことは、選ぶための力が与えられていることです。■

「若人の強さのために」は、ヤングアダルトの強さのためにもなります。「娯楽とメディア」の章には、メディアを選ぶときに役立つ素晴らしい指針が載っています。

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

## 注

1. デビッド・A・ベドナー, "To Sweep the Warth as with a Flood," (ブリガム・ヤング大学教育週間ディボーションナル, 2014年4月19日): speeches.byu.edu
2. ジョー・ボグズとデニス・ベトリー, The Art of Watching Films (2004年), 43, 強調付加
3. ジェフリー・R・ホルランド「あなたがたは身を清めなさい」『リアホナ』2001年1月号, 48
4. カレン・ディル, How Fantasy Becomes Reality: Seeing Through Media Influence (2009年), 224
5. デビッド・B・ヘイト, 「個人の性道徳」『聖徒の道』1985年1月号, 68 参照
6. C・S・ルイス, Christian Reflections, ウォルター・フーパー編(1967年), 33
7. M・ラッセル・バラード「声を届かせる」『リアホナ』2003年11月号, 16, 強調付加
8. Susanna Wesley: The Complete Writings (1997年), 109

# オーストラリアで 王国を建てる

ベン・ロビンソン

**マ** ウント・バウバウから朝日が差す頃、キャラン・ブルックスは既に大好きなことに取りかかっています。それは家を建てることです。ツーバイフォー材を組む彼の顔は、仕事がうまくいっているという達成感でほころんでいます。

彼の働く姿を見て、キャランが聴覚障がい者であると思う人はいません。障がいがある彼の働きにブレーキをかけたことはありません。キャランは、大工仕事は自分の本分のように感じています。そして、そのとおりのなのでしょう。——彼の家系は5代も前から建築に関わっているからです。

「15歳のときに、学校を辞めて大工の見習いを始めました」と彼は言います。「オーストラリアでは、自分の好きな見習いの仕事があれば、学校を辞めて正規で働くことはよくあることなんです。」キャランはそれ以来ずっと建築の仕事に関わっています。家を建てることであれ、自分自身の証を強め、召しを大いなるものにするのであれ、彼はいつも神の王国を建てる働きに携わっています。

聴覚障がいがある建築の仕事の妨げに

なつてこなかったように、福音を学び、宣べ伝えるという望みを妨げることもありませんでした。

彼はこう述べています。「子供の頃は、壇上からの話を1割理解するのがやっとでした。」専任宣教師として働きたいと思いましたが、聴覚障がいのために宣教師になるための条件を満たすことができませんでした。しかし、彼は主を信頼し、主の御心みこころがなるように祈りました。すると予想もしていないことが起こりました。彼の聴力が悪化したのです。

「18歳のときに、6か月という長い間、わたしは聴力を完全に失ったのです。感じることもできなかったので、そのためだけに教会へ行きました。」と彼は説明しています。

その期間は、キャランが証を培い、御霊みたまに頼るときとなりました。初めはさらなる試練と思われたことが、なんと結果的に彼の祈りの答えとなったのです。突然の聴力低下により、彼は人工内耳の移植を受けることができ、その結果、専任宣教師となるのに必要な程まで聴力が改善したのです。キャランは間もなくして、オーストラリア

挫折も聴覚障がいも、  
オーストラリアで  
主の業を速めるために  
力を尽くすこの青年を  
止めることはできませんでした。

のパスで伝道しました。

彼は現在ビクトリア州のモエに住んでおり、ワードの若い男性会長会で奉仕しています。福音の中で強くあり続けることが難しい場所で、そうできるように10人の青少年を助けています。そのため、彼は真の改心をもたらす御霊の働きを強調しています。

「わたしたちは、青少年たちがモルモン書を読み、教会のプログラムを活用することによって、自分自身で改心できるよう導くことを心がけています。」

この5代目となる大工としての働きぶりがどのような影響を与えているかは、彼の建築作業や福音に対する証、そしてワードの青少年に指導する姿を見れば明らかです。■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。





**キャンランについて**

ヤングシングルアダルトのためのどのような活動がありますか。

オーストラリアでは毎年、全てのヤングシングルアダルトを対象とした大きな大会が開催されます。オーストラリアでは、ヤングアダルトは大変広い地域に散在しているので、みんながお互いを知る機会となります。何千キロも移動しなければならないことは大きな犠牲でもあります。

余暇にはどんなことをしますか。

スポーツが大好きで、特にバスケットボールをします。2年に1度、教会員主催の大きなイースターバスケットボール大会があります。女性の部、スリーポイントシュートの部やダンクシュートの部などもあります。

**オーストラリアの教会**

- 末日聖徒の人数 143,891
- ユニット数 303
- 家族歴史センターの数 145
- 伝道部 6
- 神殿 5

**オーストラリアについて**

首都：キャンベラ  
言語：英語

**数字でみると**

- 人口 2,300 万人以上
- 500 以上の国立公園
- ハイウェイ 1 号線は、大陸を周回している 9,000 マイル (14,500 キロ) にも及ぶ道路で、世界最長の国道です。









# レベッカのところに行ってみましょう

ミンディー・レイ・フリードマン

イリノイ州シカゴ南伝道部で働き始めて数か月後、わたしはまだ最初の任地で奉仕していました。隣接する姉妹宣教師の担当地域が閉鎖されて間もなかったため、わたしたちは隣の地域の求道者でスペイン語を話す人を全て担当していました。その中にレベッカという女性がいました。

初めてレベッカに会ったときに、わたしは彼女の信仰に感銘を受けました。レベッカは家の地下に住んでいたため、ドアを開けてもらうには、窓をノックしなければなりません。前任の宣教師が教え始めたきっかけは、彼女が「イエス・キリストへの信仰を見いだす」というビデオを注文したことでした。レベッカがビデオを申し込む電話をかけなければ、宣教師は彼女を見つけられずにいたかもしれません。

レベッカの話聞いて、彼女が大変な人生を送ってきたことが分かりました。かつては幸福でしたが、今は息子をはじめ家族と離れ離れに暮らしています。つつましい暮らしでしたが、主が彼女を愛しておられるのを感じました。

教えるときに、彼女が御霊を感じているのが分かりました。訪問するたびに、彼女の心はかなり高められました。残念ながら遠くに住んでいたため、思うように頻繁に訪問することはできませんでした。

ある金曜日、わたしたちはゾーン大会後にその近辺に行く計画を立てました。半分ほどの距離を既に行っていたからです。レベッカに自宅にいるか尋ねましたが、仕事があるとの答えでした。それでもわたしたちはその地域に住む他の求道者を訪問することにしました。

結局そこで時間が余ってしまい、何をしようか考えめぐねました。すると、同僚がこう言いました。「レベッカが家にいるか見に行ってみましょう。」家にいないとレベッカが言ったのですから、この提案は的外れなように思えました。そのとき、こう言う声が聞こえました。「戻ってレベッカを訪問しなさい。」わたしはレベッカの家の方向へと文字どおり体が引っ張られるような思いがしました。これほど強い促しを感じたことはありません。

同僚に車をユーターンするよう言い、レベッカの家に行きました。窓を2度たたきましたが、返事はありません。主がわたしたちをそこに送られた理由があるはずだと思っていたわたしは、とてもがっかりしました。わたしは、もう一度ドアをたたこうと言いました。少し待ち、そこを離れようとしたちょうどそのときにレベッカが玄関に出てきました。

ついさっき仕事を解雇されたために家にいて、話し相手をとっても必要としていました。そしてわたしたちが来るよう祈っていたのです。わたしたちのことを天使だと言いました。わたしたちは彼女と話し、福音についてさらに教えることにより彼女の気持ちを和らげることができました。

天の御父が御自分の子供一人一人を気に掛け、レベッカの祈りをお聴きになったことをうれしく思います。また、レベッカを訪問するようという促しに従い、わたしたちが彼女の祈りの答えになれたこともうれしいです。天の御父はわたしたちの生活に起こる全ての出来事を御存じで、わたしたちが御父を頼り信仰をもって求めるならば、必要な助けを与えてくださいます。■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

戸をたたいても  
誰も出てきません  
でしたが、  
わたしたちは  
神の子を  
一人助けるために  
そこに送られたことを  
確信していました。

# 光に目を向けよう

「わたしたちは八方ふさがりの状況に陥ることがあります。  
けれども、神の光に希望を見いだすことができますと、  
神は約束しておられます。」

大管長会第二顧問 ディーター・F・ワークトドルフ管長  
「神の光のもたらす希望」『リアホナ』2013年5月号, 70





# そこが知りたい

前世で忠実だったのなら、  
今忠実でいることが  
こんなに難しいのは  
なぜでしょうか

**地**上に来る人は皆、天の御父の計画に従うことと、イエス・キリストを救い主として受け入れることを前世で選んだ人です。だからといって、この世で従順で義にかなった生活をするのが簡単だというわけではありません。天の御父の計画では、この世の生活はわたしたちが選択の自由をどのように使うかを見るための厳正な試しの場だからです。そのため、前世の記憶は取り去られています。また、計画の一部として肉体を得たことによって、霊であったときには知らなかった欲求、情欲、誘惑にさらされるようになりました。そのために、たやすく「肉欲や官能におぼれ、悪魔に従う」ようになったのです（モーセ5：13）。「生まれながらの人〔が〕神の敵」なのは、そのためです（モーサヤ3：19）。

人は「聖なる御霊の勧めに従い、主なるキリストの贖罪により、生まれながらの人を捨てて聖徒と」なって初めて（モーサヤ3：19）、このような難題を克服することができます。簡単ではありませんが、御霊に耳を傾け、良い選択をし、主のもとに来るとき、イエス・キリストはあなたを強め、変えてくださるのです。■



預言者の教えたことに疑問を持った場合、  
どうしたらよいでしょうか

**回**復された教会が組織されたとき、ジョセフ・スミスは初期の聖徒のために次のような啓示を受けました。「あなたがたは忍耐と信仰を尽くして、あたかもわたし自身の口から出ているかのように、彼の〔預言者の〕言葉を受け入れなければならない。」（教義と聖約 21：5）

ジョセフ・スミスはまた、「預言者は預言者として行動するときのみ預言者である」と語っています。<sup>1</sup>つまり、「一人の指導者がある特定のときに語ったことは、熟慮されたものではあっても個人的な意見であることが多く、教会の公式な見解あるいは教会全体に対して拘束力を持つ言葉ではない」ということです。<sup>2</sup> 預言者が「預言者として行動」しているかどうかは、通常簡単に分かります。公的な立場で教会員に向かって説教するときなどがそれに当たります。

「何であろうと主の預言者が宣言したことについて」証<sup>あかし</sup>が持てるよう天の御父に求めることは、わたしたちの特権です。<sup>3</sup> もし証を持っていないなら、預言者たちがそれについて語ったことを学び、行動を選択するべきです。最善の行動とは、一貫して繰り返し語られる預言者たちの勧告に「忍耐と信仰を尽くして」従うことです。そうすることで、祝福を受けることができます（1ニーファイ2：11、16、19参照）。■

注

1. ジョセフ・スミス, History of the Church, 第5巻, 265
2. D・トッド・クリストファーソン「イエス・キリストの教義」『リアホナ』2012年5月号, 88
3. ラッセル・M・ネルソン「本物のミレニアル世代になる」(ヤングアダルト対象のワールドワイド・ディボーションナル, 2016年1月10日) lds.org/broadcasts/?lang=jpn



# 裁縫と2度目の クラスと機会

わたしはピアノの先生に福音を伝える機会を逃しました。  
次の促しにはきちんと従えるでしょうか。

ベレン・チャパーロ

18歳のとき、わたしの家族は南アルゼンチンから北アルゼンチンに引っ越しました。父が伝道部長として奉仕することになったからです。最初の数か月、わたしと家族は慣れるのに苦労しました。まだ友達が誰もいなかったのので、わたしたちは参加できる活動を探し始めました。そこでわたしはピアノのクラスに申し込みました。

ピアノの先生メイベルは、今まで出会った中で最高の教師でした。クラスは非常に楽しく、わたしの演奏能力はみるみる上達し始めました。しかし、メイベルはがんを患い、苦しんでいました。彼女はさまざまな場所にいる治療師、医師、聖職者を訪問するのに多くの時間を費やしていました。数回入院しなければなりませんでしたが、快復すると戻って来て、それまでと同じように元気に献身的に教えてくれました。

毎日、そして毎回のクラスで、わたしは彼女に神の計画に関する希望、イエスキリストがその力をもって与えてくださる希望について紹介しようと思いましたが、どのようにしたらよいか分かりませんでした。

夏休み後にクラスが始まったとき、メイベルの容態はまた悪くなりました。何も連絡がないまま時間が

過ぎ、わたしは彼女に電話をかけて、どうしているかと尋ねるメッセージを残しました。翌日、彼女の娘さんから、メイベルが亡くなったことを告げられました。わたしは深い悲しみに沈みました。彼女に福音を伝えるべきでしたが、長い間その時を先延ばししていたために、機会を失ってしまったことが分かっていました。

わたしは裁縫のクラスを取ることにし、別のすばらしい先生と出会いました。彼女は神を信じていましたが、別の宗教に属していました。あるクラスで、福音が話題となり、彼女がわたしにどの宗教に属しているのかと尋ねてきました。わたしは末日聖徒イエスキリスト教会の会員であると答えました。彼女はその名前に混乱した様子だったので、「皆はわたしたちをモルモンとも呼んでいます」と説明しました。彼女はすぐにうれしそうに、笑顔でこう言いました。「わたしモルモンが大好き!」

彼女は続けて言いました。「あなたがモルモンだって断言できるわ。」そしてその理由を挙げ始めました。わたしが福音に従った生活をするために努力していることを彼女が気づいたと知って幸せでした。彼女はわたしたちの教会のバプテスマについて少し尋ねてきました。わたしがそれについ

て説明すると、彼女はすぐに「わたしはあなたの教会のバプテスマは受けられないわ。他の宗教で育ったのですもの」と言いました。彼女が自分の信じていることを話すのを聞いてみると、わたしが彼女に伝えられることがたくさんあると分かりました。わたしは彼女にモルモン書を渡すようにという静かな、しかし確固とした促しを感じました。御霊がわたしに語りかけておられるのだということが分かりました。

わたしはモルモン書を手に入れ、紙を1枚手に取り、彼女に向けて短い、心からの手紙を書き、何かしら質問があった場合に備えて、電話番号を記しました。その紙をモルモン書に挟み、包装して、リボンをつけました。次のクラスのときにそれを彼女に渡しました。彼女は喜んでそれを受け取り、感謝を表しました。

その週の間ずっと、彼女がその贈り物を開けたとき、どう反応したか気にかかりました。気に入ってくれたのでしょうか、それとも気に入らなかったのでしょうか。次のクラスに少し遅れてしまいましたが、わたしが教室に入ったときの彼女の反応に驚きました。彼女はわたしを抱き締めて、力強くこう言ったのです。「とても、とても、とても気に入ったわ! あなたがくれ



た本は、その版について説明している最初の序文の部分からとてもすてきだわ。本当に真実だわ。とてもすてきな聖文が載っているわね。読み始めて、もう半分までできたのよ。読むのがやめられないの!」

彼女が興奮して話すのを聞いて、クラスの他の生徒たちは何が起きているのかと顔を見合わせていました。以前モルモン書について話したことがあるクラスメートの一人が、この本は平安をもたらすのかと尋ねました。先生は答えました。「この本を読んで泣きなくなったわ。悲しいからではなく、祝福されたからなのよ。」彼女はいつまでも笑顔でわたしを抱き締め続けました。

わたしはこの上なく幸せでした。そのとき、誰が神の言葉を受け入れる準備ができているのかわたしたちには判断できないということが、理解できるようになりました。わたしたちには人の心がどれほど福音を受け入れやすいかは分かりません。神が福音を分かち合うよう促されるなら、わたしたちは行動を起こす必要があるのです。なぜなら、神はわたしたちよりも何事もよく御存じだからです。■

筆者はアルゼンチン・サルタ在住です。





# 戒め = 愛

愛は戒めとどう関係するのでしょうか？



## 愛の表現

「神の律法はわたしたちに対する神の愛の現れであり、その律法に従うことは神に対するわたしたちの愛の表現で〔す〕。」

中央扶助協会会長第一顧問 キャロル・M・スティーブズ  
「もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである」  
『リアホナ』2015年11月号、120

教会機関誌

シャーロット・ラーカバル

**戒**めについて考えるとき、皆さんは十戒が刻まれた石板や規則、境界線、要求、必要条件といったことを思い起こすかもしれません。すぐに愛を思い浮かべることは、たぶんないでしょう。愛は戒めとどう関係するのでしょうか？

愛は、全ての戒めと関係します。

## わたしたちを愛しておられるので

皆さんが幼かった頃、皆さんの親は車の往來の激しい道で皆さんが遊ぶのを許さなかったのではありませんか。あるいは、皆さんにもっと野菜を食べさせようとしたり、もっと早く寝させようとしたりしませんでしたか。

おそらく皆さんは、どうしてそれほど多くの決まり事があるのか理解していなかったのではないのでしょうか。そしておそらく、そうした規則は必ずしもいつも快いものではなかったことでしょう。今はあの頃より成長しました。なぜ親がそのような規則を与えたのか理解できますか。

それは彼らが皆さんを愛していて、皆さんにとっての最善を望んでいたからです。

最も完全な親として、天の御父は同じ理由からわたしたちに律法や戒めを与えてくださいました。神はわたしたちを愛しておられ、わたしたちにとっての最善を望んでおられるからです。そのうえ、御父はわたしたちが御父のようになり、御自身がお持ちの全てを受け継ぐよう望んでおられます。





十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老は、たとえを使ってこのことを次のように教えています。

「ある金持ちの父親が、自分の子供は求められるだけの知恵がなく、才覚もないので、このままでは遺産を受け取っても全てを失ってしまうだろうと考えていました。そこでこの父親は子供に言いました。

『わたしはおまえに富だけでなく、地位と名声、わたしが持っている全てをも譲りたいと考えている。持っているものをおまえに与えるのは簡単だが、わたしの今ある状態はおまえが自分で手に入れなければならないものだ。わたしが学んだように学び、わたしが生活したように生活することによって相続する資格を得るのだ。わたしが知恵と地位を手に入れた法則と原則を教えよう。わたしの模範に従って、わたしが身につけたように身につけるのだ。そうすればおまえはわたしのようになり、わたしのものは全ておまえのものになるだろう。』<sup>1</sup>

オークス長老の話の中の父親と同じように、天の御父は、御自身が持っておられる全てをわたしたちが持ち、御自身が身につけられた全てをわたしたちが身につけるよう望んでおられます。神の戒めは、わたしたちが学んで成長し、御父のようになるのを助けるための踏み石のようなものです。

「わたしはあなたがたに新しい戒めを与えて、……言い換えれば、あなたがたの救いのためとなるように、あなたがたがわたしの前でどのように行動すればよいか、あなたがたに指示を与える。」(教義と聖約 82：8-9)

車の往来の激しい危険な道の真ん中

で遊ぶことが許されない理由を理解していない幼児のように、わたしたちは特定の戒めや標準の背後にある理由を常に理解しているわけではないかもしれません。しかし、神がわたしたちを愛し、わたしたちが神のようになるためにわたしたちを導くことを望んでおられるので、神はわたしたちに戒めをお与えになったということを理解するならば、神に従うのはより簡単になるでしょう。

### 御父を愛しているのだ

全ての戒めは、神がわたしたちを愛しておられることを表す大いなるしるしであると考えることができます。そして、御父の戒めに従うことを選ぶとき、わたしたちもまた御父を愛していることを表明するのです。

大管長会第二顧問のディーター・F・ウークトドルフ管長は、「なぜわざわざ神の戒めを守るのか」という質問に答えるに当たり、次のように簡潔に述べました。

「わたしたちが神の戒めに従うのは、神を愛しているからです。……

わたしたちが神の戒めに従うのは、神の慈しみに対するわたしたちの限らない愛と感謝から生じる自然な結果なのです。」<sup>2</sup>

わたしたちが持っているものは全て、すなわち動き回る能力から呼吸することまでも、天の御父から与えられたものであり、御父がわたしたちに求めておられるのは、その戒めを守ることだけです(モーサヤ 2：21-22 参照)。それが、わたしたちが神に対する愛と感謝を表すことのできる最善の方法なのです。

イエス・キリスト御自身もそのように言われました(ヨハネ 14：15 参照)。

天の御父はなぜわたしたちに戒めをお与えになったのでしょうか。わたしたちを愛しておられるからです。

なぜわたしたちは戒めを守るのでしょうか。御父を愛しているからです。

戒めはすなわち愛なのです。

とても簡潔です。■

### 注

1. ダリン・H・オークス「主の望まれる者となるというチャレンジ」『リアホナ』2001年1月号、40 参照
2. ディーター・F・ウークトドルフ「恵みの賜物」『リアホナ』2015年5月号、109

## 話し合いに参加する

### 日曜日に備えて、深く考える事柄

- わたしがさらに天の御父のようになるのに、戒めはどのような助けとなるでしょうか。
- 神が自分を愛してくださっていると知ることは、戒めを守るのにどのような助けとなるでしょうか。

### 実践してみる事柄

- 戒めを研究する際、約束された祝福を見つけ、それに留意してください。
- 戒めを守ることで天の御父にさらに近づいたと感じる助けとなったことはありますか。感じていることを家族や友人に、またはソーシャルメディアで伝えてください。



# なぜモルモン書なののでしょうか

モルモン書に対する証<sup>あかし</sup>について、わたしはいつも他人の証に頼ってききましたが、自分自身の証を見いだす時が来たと思いました。

エルビン・ジェローム・ラケダ

**既**に聖書があるのに、なぜモルモン書が必要なののでしょうか。わたしはこの疑問について何度も考えたことがあります。10代の頃、モルモン書に興味はありましたが、読みたいとは思いませんでした。一つには、亡くなった母方の祖父を除いて、家族で教会員はわたし一人だけだったので、家でモルモン書を読むように励ましてくれる人は誰もいなかったからです。

ある日曜日の証会で、多くの会員がモルモン書の真実性について証しました。それはわたしがその頃疑い始めていたことでした。彼らはモルモン書を読んだことがない人々に、モルモン書が真実であること、ジョセフ・スミスが神の預言者であったこと、末日聖徒イエス・キリスト教会がこの地上における神の王国であることについて、自分自身の証を得ようチャレンジしました。

わたしは、教会やジョセフ・スミスについての自分の証が、サタンの誘惑や誘いに逆らえるほど十分に強いものか深く

考えました。そうではないことに気づきました。わたしの証は、今まで教会指導者や教会員の証にのみ頼っていたので、弱かったのです。その日から、わたしは自分自身の証を見いだそうと自分に約束しました。

わたしはモルモン書を読む決心をしました。序文にはこうあります。「わたしたちはあらゆる地に住むすべての人に、『モルモン書』を読み、この書物に含まれている教えを心の中で深く考え、そして、この書物が真実かどうか、キリストの名によって永遠の父なる神に問うようにお勧めする。この手順を踏んで、信仰をもって問う人々は、『モルモン書』が神から与えられた真実の書物であるという証を、聖霊の力によって得るであろう（モロナイ10：3－5参照）。」わたしは自分がモルモン書を読むよう個人的に招かれていたことを知っていました。読み続けていると、その書物の神性と真実性を証される聖霊からの温かい気持ちを感じました。

モルモン書は確かにキリストを証していることが分かり、





その真実性を疑った自分を恥じました。学校で、裁判官が判断を下す前に事件の証拠をどれほど慎重に研究するかを学びました。わたしはモルモン書に対して反対のことを行っていました。すなわち、読む前に判断を下していたのです。

わたしは、謙遜な心と、自分が信じるものを守るための勇気をもってモルモン書を読み終えました。また、今ではもう一度モルモン書を読むときに仲間がいるので幸せです。わたしが初めてモルモン書を読み終わる少し前に、母方の祖母がバプテスマを受けたのです。

わたしには、イエス・キリストがわたしの救い主であられること、ジョセフ・スミスが神の預言者であったこと、末日聖徒イエス・キリスト教会がこの地上におけるまことの生ける神の教会であることについて、確固とした証があります。■

著者はフィリピン在住です。



### モルモン書は 皆さんの信仰を増し加えます

「聖書とモルモン書は、わたしたちにイエスがキリストであり、神の御子であられるという絶対的な確信を与えてくれます。……モルモン書は現在、世界中で110の言語に完訳、あるいは部分訳され、回復が真実であるという霊的かつ目に見える証拠を与えてくれています。皆さんが最後にモルモン書を初めから終わりまで読んだのはいつですか。もう一度読み直してください。モルモン書は皆さんの信仰を増し加えます。」

十二使徒定員会 ニール・L・アンダーセン長老  
「信仰は偶然ではなく、選びによって与えられる」  
「リアホナ」2015年11月号、67





七十人  
チェンワンファン  
崔崙煥長老

# 神の言葉により 強められる

預言者の言葉を応用する方法を学んだことで、わたしは自分になりたい者になるためではなく、  
主が望んでおられる者になるために生活を変えました。

**わ**たしが韓国で青少年の時期を過ごしていた頃、父は子供たちに、好きな教会に行ってもよいと言ってくれました。ところが、宗教的な信条が異なることで、家族で夕食を取りながら言い争うことがよくありました。このため、父は家族の宗教的な信条を一つにしたいと考えました。弟はおじと一緒に末日聖徒イエス・キリスト教会の集会に行っていたので、父は教会についてもっと学ぼうと、二人と一緒に集い始めました。わたしも教会に行き、ミューチャルの楽しい活動と、セミナーのプログラムが若い人たちを霊的に強めている様子を見て感心しました。

16歳のとき、わたしは両親とともにバプテスマを受け、それから7か月の



間に残りの家族や親戚 23 人が教会に加わりました。

教会に入ったとき、わたしたちは教会に対して常に活発でいることと、福音の教義について学び続けることを決意しました。毎日忠実に聖文と、教会の他の多くの書籍やテキストを読むことで、この決意を実行しました。それから数年の間に、わたしは教会に断固として集い続けることについて、二つの重要な原則を学びました。

1. セミナリー、教会、家庭で聖文を研究する。
2. 預言者の勧告に耳を傾け、従う。

## 聖文の力

家庭での聖文研究に加えて、弟とわたしはセミナリーとミューチャルにも忠実に参加しました。当時は、午前中に日曜学校があり、聖餐会は午後遅くにありました。集会所まで遠かったので、わたしたちは教会の建物に残ってセミナリーに出席し、その後の聖餐会まで他の教会員と話したり、一緒に過ごしたりして楽しみました。当時、韓国の多くの若い人たちが教会に加わり、ともに学び、楽しい活動を行い、仲良くなりました。

わたしはアロン神権定員会で奉仕するよう召されて、若い女性の各クラスで奉仕する姉妹たちと親しく働きました。わたしたちは、導くべき人々を見守り、彼らのために祈ること、そして一緒に活動を計画する方法や時間を賢く使う方法を学びました。

1 週間の中で、わたしは学校の勉強をする前に、セミナリーの聖文研究をしました。疲れて宿題ができないときや学校で問題があるときには、セミナリーのテキストを開いて研究し、祈りました。そうすると、頭がすっきりして宿題によく集中することができました。今でもこのことを生活で応用しています。大変なときには、頭をすっきりさせるために今でも、聖典や総大会の説教を読んでいます。

韓国の多くの高校生は、学業に多くの時間を費やし、遅くまで勉強します。セミナリーやミューチャルの活動のために時間を取ると、気持ちがすっきりして学業においても祝福されることを知りました。そこで学んだ教訓は、まだ学生の頃の別の状況でも助けとなりました。

ある日のこと、教師が地理の授業でアメリカ合衆国ユタ州について教え、教会について間違ったことを言いました。わたしは、「皆の前で彼の言葉を訂正するべきだろうか、それともクラスの後で個人的に彼のところに行くべきだろうか」と考えました。そのとき、セミナリーの教師の言葉が心に浮かびました。彼女は「誰かが教会について間違ったことを言っても、言い争いをしたり、相手の気分を害するようなことをしたりしないように」と言っていたのです。

授業の間、わたしは黙っておとなしくしていた方がよいと感じました。授業の後で教師のところに行き、自分が教会員であることを伝え、授業で彼が



## 皆さんへの勧告

**預**言者と使徒の勧告に従うとき、祝福を受けます。

1. 聖文を研究し、セミナーに出席し、『わたしに従ってきなさい』のレッスンに参加しましょう。今、そして将来すばらしい宣教師として奉仕するために『わたしの福音を宣べ伝えなさい』を活用してください。
2. 預言者の勧告に耳を傾け、従いましょう。
3. すべてのことを、秩序正しく賢明に行いましょう。

教えた間違いについて訂正しました。彼は、「君がモルモンだったとは知らなかった。教えてくれてありがとう」と言いました。その後、教師は授業で正しい情報を伝え、変わらずわたしに敬意を払ってくれました。わたしはセミナーの教師を通して教えられた勧告に感謝しました。

### 軍務か伝道か

若いとき、わたしは陸軍士官になりたいと思っていました。その目標を達成するため、士官学校に出願するつもりでした。そうすることは、伝道には出ないということでした。いかなる宗教活動のためにも、陸軍士官学校のプログラムを休学することはできないからです。

そんなとき、韓国のソウルで行われた地区大会に参加する機会がありました。その出来事はわたしの人生の進路を変えました。地区大会で、スペンサー・W・キンボール大管長（1895 - 1985年）は青少年に向けて、以下を行うよう勧めました。

- a) セミナーに出席する、
- b) 伝道に出て立派に奉仕する、
- c) 神殿で結婚する、
- d) 昇栄に向けて努力する。

わたしは大管長の勧告が正しいと分かり、次の聖句が思い浮かびました。「わたしの言葉は過ぎ去ることがなく、すべて成就する。わたし自身の声によろうと、わたしの僕たちの<sup>しもべ</sup>の声によろうと、それは同じである。」

（教義と聖約 1：38）

預言者が人生の優先事項として伝道に出ることの重要性について語るのを聞いたとき、「まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう」と主が言われたことを思い出し（マタイ 6：33）、主を信頼して伝道に出て、士官になるという夢を諦めるべきだと分かりました。

士官学校に行く計画はなくなっても、全ての若い男性には3年の兵役の義務がありました。わたしが韓国プサン伝道部で奉仕し始めて1年が過ぎた頃、兵役に就くよう韓国政府から召集の通知が届きました。3年の兵役を果たし終えた後、伝道を最後まで行いたいと思いました。それで韓国ソウル伝道部に召されて、もう1年そこで奉仕したのです。

### 「正気なの？」

伝道から帰ると、わたしは預言者の勧告に従うことによりまた祝福を受けました。一つの例ですが、伝道を終えた後、学業を終えるのを待たずに、結婚を決意しました。韓国では、学業を終えて安定した収入を得てから結婚し家庭を築くのが習わしです。しかし、わたしは預言者の勧告に従い、すぐに結婚に向けて準備する必要があると分かっていました。妻とわたしは青少年のプログラムで出会い、伝道前から良い友達で、お互いをよく知っていました。「正気なの？ お金がないじゃない」と妻の友人たちに言われ

ましたが、わたしが伝道から帰還して間もなく結婚しました。

主の勧告に従う必要があると知っていましたから、わたしたちは文化的な習わしと異なることでも実行しました。預言者の勧告に従うことにより、わたしたちの生活は祝福され、他の方法では得られない経験をしました。

秩序正しく賢明に全てのことを行うようにという主の勧告（モーサヤ 4：27 参照）は、社会が教えることとは異なることがあるかもしれませんが、主の時刻表に従って行動すると、生活がよい方へ変わっていくことに気がつきます。今日、主の方法でわたしたちを導いてくれる生ける預言者に感謝しています。「神から祝福を受けるときは、それが基づく律法に従うことによる」ことを知っています（教義と聖約 130：21）。■





十二使徒定員会  
ロバート・D・  
ヘイルズ長老

## 感謝を示す方法

**わ**たしが最も深く感謝しているのは、わたしたちの救い主イエス・キリストの贖いの犠牲です。贖罪は全ての福音の真理の基です。……

感謝とは、ありがたいと思う状態であり、それを行いで示すことであり、それによってわたしたちは謙遜になります。なぜなら、他の人の親切、奉仕、思いやりによって自分が高められ、強められたことを認めるからです。

忘恩とは、だれかの助けを受けながらそれに気づかなかったり、それを認めなかったりすることです。さらに悪いことは、助けられていることを知りながら、個人的にも公にも感謝の気持ちを示さないことです。

感謝の思いとそれを表現することには、何らかの目立たない方法でわたしたちを清め、癒やす、すばらしい性質があります。感謝はそれを与える人と受ける人の両方に喜びをもたらします。

自分が持っているものについて天の御父に感謝の祈りをささげると、心に平安を得ることができます。その平安があれば、自分の持っていないものについて心を悩ませることはありません。また、感謝がもたらす平安は、逆境や

失敗の苦しみを克服できるように助けられます。毎日感謝するということは、過去に得ていたものや将来手に入れたいものに関係なく、今得ているものに**感謝の気持ちを示す**ことです。また、自分に与えられている賜物や才能を認識して感謝することにより、他の人が持っている賜物や才能によって**助けてもらう必要があることも認める**ようになります。

感謝は神聖な原則です。

「あなたはすべてのことについて、主なるあなたの神に感謝しなければなりません。」(教義と聖約 59:7)

この聖句の意味は、どんなことがあっても**感謝する**ということです。人生で起きるよいことだけでなく、わたしたちに経験を与え、信仰を増してくれる人生の逆境や困難にも感謝するということです。全ての経験はわたしたちに経験を与えるためであることを理解しながら、**自らの人生を主の御手に委ね**ます。

「みこころがなるように」と祈るとき、わたしたちは信仰と感謝、そして**どんなことがあってもそれを受け入れる**という気持ちを表しているのです。



### 自分にどのように 当てはめましたか

天の御父に感謝するときはいつも、さらに幸せを感じると知っています。他の人に奉仕し、天の御父に対して感謝を示すのが大好きです。そうするとき、地上に来た理由と、そして地上での自分の使命についてさらによく理解することができます。感謝の気持ちは平安をもたらします。

カリー・M (15歳)

皆さんが神の恵みに対して、またこれまで与えられてきた全ての祝福に心から感謝し、その思いを天の御父への祈りの中で表すことができますように。■

1992年4月の総大会説教より抜粋して掲載。

# わたしたちのスペース



## 神はわたしの悲しみを御覧になった

ダネリス・W・ロドリゲス  
(ドミニカ共和国)

**あ**る日曜日、教会で、自分は若い女性のプログラムをもうすぐ終えて、ヤングシングルアダルトになることに気がつきました。これまでと同じようにはいかないと分かっていたので悲しくなりました。日曜学校の後、元気を出そうとしましたができません。天の御父の望みは、わたしが悲しむのではなく喜ぶことだと自分に言い聞かせようと思いました(2ニーファイ 2:25 参照)。

## わたしの好きな聖句

クワメナ・クームソン (ガーナ)

### ヒラマン 5:12

**マ**の聖句は、イエス・キリストを生活の中心にすることによってのみ、悪魔に打ち勝つことができるということを理解できるように助けてくれます。試練に遭っても、わたしたちがイエス・キリストの岩の上に築かれていれば、できないことは何もありません。

この聖句のおかげで、わたしは困難なときも強くあることができました。

神が生きておられ、人類の罪を贖<sup>あがな</sup>うためにその独り子を地上に遣わされたことを知っています。■

廊下で友人の肩にもたれて泣き出しそうになったそのとき、ワード書記がやって来てこう言いました。「ダネリス姉妹、お手紙ですよ。」彼は、白い封筒を手渡してくれました。そこにはわたしの名前だけが書かれていました。何の手紙だろうと不思議に思ったわたしは、差出人は誰か聞きました。祝福師から届いたもので、祝福師の祝福の写しであると彼は言いながら去って行きました。わたしはついでに泣いてしまいました。しかしそれは、神がわたしが悲しむ様子を御覧になって、悲しみの中に喜びを見つけられる方法を与えてくださったという、うれし泣きでした。祝福師の祝福が文書として、わたしが最も必要として

いたそのときにようやく届いたのです。

家に帰ってから読むと、再び涙があふれ、祝福文が届いたことを神に感謝しました。そして自分が神の娘であること、永遠の福音の光を得ていることがいかに幸せなことであるかを思い出させてくれたことに感謝しました。

悲しいとき、幸せを見つけられるように神が助けてくださると知っています。たとえわたしがそのときに理解できなくても、です。わたしの人生に神が注いでくださる愛を通して、このことを知りました。神はこの愛を一人一人に注いでくださっています。このすばらしい気持ちを受け入れるのはわたしたちの責任です。神の導きがあれば、わたしたちは試練を乗り越えることができます。笑顔になり、幸せになれるのです。■



# どの道を選ぶか



アビー・F、11才  
(アメリカ合衆国、  
バージニア州)

今日は転校して  
初めて最初の  
登校日でした。

わたしは新しい  
友達を作るのが好きだし、得意で  
した。自分の教室に行って、クラスの  
みんなを見ました。きつとすてきな  
1年になると思いました。新しい友  
達とお昼を食べている間、別のクラス

の女の子がとなりにすわっていました。  
ハナという名前の女の子でした。わ  
たしがすわったとき、ハナは「わあ、  
あなたのくつ、すごくさいのね。ごみ  
箱なのか、それともそれがあなたの好  
きなファッションなのかと思ったわ」  
と言いました。

ハナにそう言われて、わたしも他の  
友達もおどろきました。わたしは立ち  
上がって他のテーブルにうつり、他の  
新しい友達とすわりました。

次の日の休み時間、ハナはまた  
意地悪なことを言いました。これが  
毎日毎日続きました。でもそのたび、  
わたしは意地悪なことを言い返す  
ことはしませんでした。それは、日曜  
学校の先生のローソン兄弟が、自分

が人からしてほしいことを人にもする  
ようにと教えてくれたからです。その  
ことを考えて、わたしはハナにそれを  
やめてくれるようにたのみ、なぜそん  
なことをわたしにするのか聞いてみま  
した。

それから家に帰って、ハナが言った  
ことを全てお母さんに話しました。  
わたしは爆発しそうな気持ちでした。  
するとお母さんが言いました。「ア  
ビー、とにかく意地悪をし返さない  
ようにね。家で大変なことがあると、  
そんなふうになってしまうときがある  
ものよ。」

わたしは、お母さんとローソン兄弟  
が言ったことを考えながら学校に  
行きました。その日学校で、ハナが、  
家で大変なことがあって、はらを立て  
て意地悪なことを言っていたことを  
ようやく話してくれました。わたしは  
ハナをゆるしました。そして、今年同  
じクラスになってからは、とても良い  
友達になりました。

イエスにしたがうことが最善の道だ  
ということ学びました。■

毎日、ハナは  
意地悪なことを  
言いました。



イラスト：アマンダ・ロビンソン



中央初等協会会長  
第二顧問  
ニール・F・  
マリ奥特

# あなたのいのりを 天のお父様は聞いてくださいます

おさないとき、天のお父様がわたしのことをごぞんじで、わたしがかかえている問題を理解してくださっているかどうかを知りたいと思いました。気持ちが楽になるような聖句を見つげられるように助けてくださいといのりしました。聖典を開くと、次の聖句を読みました。「[わたしたちは]



は、試合に出ないので自分はサッカーがうまくないのではないかと心配になりました。ジャックの弟、チャールズは、ジャックが心配しているのを知っていました。ある日チャールズが家族のいのりをしたとき、ジャックがサッカーのことで心配ないように天のお父様をお願いして



かんなんを……喜んでいる。なぜなら、かんなんはにんたいを生み出し、にんたいは錬達を生み出し、錬達は希望を生み出すことを知っているからである。そして、希望は失望に終ることはない。なぜなら、……神の愛がわたしたちの心に注がれているからである。」(ローマ5:3-5) この聖句から、苦しい経験によって、にんたいや経験、希望を得て、神様が自分を愛してくださっていることも感じる事ができたことを学びました。天のお父様はわたしのいのりを聞いてくださって、聖句を通していのりにこたえてくだ

さったと知っています。物事はきっと良くなるという信仰を持つことができました。

孫のスチュアートも、天のお父様はわたしたちのいのりを聞いてくださることを学びました。かれは学校で友達かほしいと思っていました。お母さんと二人で、友達を見つげられるようにいのることにしました。毎日、休み時間のベルが鳴るとき、お母さんが自分のためにいのっていることを知っていました。すぐに、新しい友達ができました。スチュアートは天のお父様が自分の心配事を心にかけてくださっていることが分かりました。天のお父様が自分のいのりにこたえてくださることが分かりました。

もう一人の孫のジャックは、10歳のとき、強いサッカーチームでプレーしていました。ジャックは両親と話して、安息日を守って日曜日には試合に出ないと決めました。でもジャック



くれたのです。チャールズはジャックを助けるすばらしい方法はかれのため

にいのることだと知っていたのです。自分のいのりがジャックの助けになるという信仰を持っていました。わたしたちはこの人生で助けが必要です。そして天のお父様はその助けをわたしたちにあたえたいと思っておられるのです。お父様はわたしたちを愛しておられます。わたしたちがいのるとき、いのりを聞いてくださいます。■



### 祝福といのり

天のお父様は、わたしたちにたくさんの祝福をあたえたいと思っておられます。あなたのための祝福がたくさんつまった大きな宝箱を思いうかべてください。あなたが信仰をこめていのだと、祝福の宝箱のかぎが開きます。救い主イエス・キリストの名前によっていのり、わたしたちを祝福してくださるように天のお父様にいのりする必要があります。

信仰

このような宝物は、あなたがいのり求めることのできる祝福です。  
 この他に、どのような祝福をいのり求めたいですか。

知識

勇気

あかし証

いのりの答えを受けるのに長い時間がかかる場合もあります。また期待していた答えではないこともあるでしょう。でも、天のお父様はいつでも聞いてくださっています。あなたのいのりにこたえてくださいます。お父様はあなたを愛しておられます。

なぐさめ





# せんきょうし 宣教師になる

アメリカ合衆国ユタ州の  
ジェナ・コフォードによるインタビューから

すべての会員は宣教師になれます。カリフォルニア州にあるぼくのステーキのステーキ会長は、ぼくたちに福音を分かち合うようにチャレンジしました。学校のレポートでアメリカ合衆国の一つの州について調べるように言われたとき、これはチャンスだと思いました。

こんにちは、ぼくは  
ジェシーです！

## チャレンジ

ぼくの先生は、アメリカ合衆国のある州を選んで、ジオラマと呼ばれる、一つの場面のミニチュアを作るように言いました。ぼくは、ユタ州のジオラマを作りたいと先生に言いました。ぼくは家族旅行でユタ州に何度も行ったことがあります。「ビーハイブ州」(訳注——ビーハイブは「ミツバチの巣」の意味)についてもっと知りたいと思いましたし、伝道できると思ったのです。







### 楽しい発見

最初の大陸横断鉄道が完成したとき、記念の犬釘（訳注——鉄道のレールを枕木に固定するために打ちこむ大きな釘）はユタ州に置かれたことを知りました。ぼくは自分のプロジェクトに、ソルトレーク神殿の写真を入れました。それから、デビッド・O・マッケイ大管長のことについても書きました。ぼくのおじいちゃんの大好きな預言者だったからです。



友達や宣教師に箱を見せているところ

### ビーハイブ（ミツバチの巣）

ぼくはジオラマの中に救いの美しい創造物を取り入れて、クラスのみんなに見せたいと思いました。箱の周りにミツバチをたくさんつけて、ミツバチの巣のように見えるようにしました。ミツバチの巣を見ると、福音を広めるためにミツバチのように一生けんめい働くことを思い出します。



### しっかりと立つための ジェシーからの提案

- みたまの声に聞き従う。
- 悪い言葉を使わない、主の名をむやみに口にしない。
- みんなが悪いことをしていたら、そこから立ち去るか、もっと良い気持ちになれるような他の活動を見つける。
- 奉仕する機会を探す。

### しっかりと立つ

しっかりと立つことによって、あなたはどのようにイエスにしたがっていますか。あなたの足形をなぞり、両親の許可書と一緒に、あなたの経験談と写真を送ってください。Liahona.lds.org から、“Submit an Article” をクリックして送るか、liahona@ldschurch.org に電子メールを送ってください。

### 宣教師になることについてのお話

ぼくは学校で作った作品をオープンハウスに持って行きました。みんな、ぼくのミツバチの箱をとっても気に入ってくれました。先生はぼくに一番いい A+ の成績をつけてくれました。ユタ州がどんなにすばらしい所か、みんなに見てほしいです。たぶん、みんな末日聖徒イエス・キリスト教会について質問するでしょう。大きくなって、伝道に出て、もっと福音を分かち合えるようになるのが待ちきれません。



# エリーゼの ために





メリリー・ブーレン

本当にあったお話をもとに書かれました。

「ぼくがいるよ わたしいるわ  
みんなは友達 愛で結ばれた」  
『子供の歌集』78 - 79)

ダニエルはまどの外をじっと見て  
いました。友達がバスケット  
ボールを持って公園に向

かうのが見えたのです。

ダニエルも行きたかっ  
たのですが、

お母さんから、今日  
は連れて行けないと言  
われました。「エリーゼ

がひどいかぜを引いてし  
まったし、それにまだあなたは  
一人で行くには小さすぎる  
から。ごめんなさいね。」

ダニエルは妹のエリーゼ

を見て、しかめ面をしまし

た。エリーゼは車いすにす

わって、ひざにおもちゃをの

せていました。5才でした

が、まだ歩くことも話すことも

できませんでした。エリーゼは

ひどいせきをしました。よく

病気になるので、暑すぎたり

寒すぎたりするときは、外には

行けませんでした。食事は、

胃に通じているチューブで取

らなければなりませんでした。

ダニエルは妹のエリーゼが大

好きでしたが、ときどきいかりの気持

ちを感じることもありました。いつも

エリーゼの都合に合わせるの、む

ずかしいこともありました。ダニエル

はただ友達と遊びたかったのです。

イライラして胃がきりきりしました。

「不公平だよ」とお母さんに言いま

した。「いつだって、何だってエリーゼ

のためばかりなんだもの。」ダニエル

は廊下を走って自分の部屋に行きま

した。

2日後、エリーゼのせきがもっとひ

どくなって、入院しなければならなく

なりました。ダニエルのおじいちゃん  
とおばあちゃんがダニエルと留守番す  
るために来てくれました。お母さんと  
お父さんはその週の残りを、病院でエ  
リーゼとすごしました。

友達と遊べるように、おじいちゃん  
とおばあちゃんに連れて行ってもらう  
こともできましたが、でも今度は、ダニ  
エルはエリーゼのことが心配になりま

した。あの日、お母さんに言ったこと  
を後悔していました。エリーゼのせ  
いでときどき遊べないことはいやでし

たが、エリーゼと話すときに見せてく  
れる笑顔が好きでしたし、一緒にいる  
と幸せな気持ちを感じました。

ダニエルは、お母さんとお父さんが  
早くエリーゼを連れて帰って来たら  
いのにと思いながら、まどの外を見

ていました。

突然、お母さんの車が庭の車よせ

に入ってくるのが見えました。ダニ  
エルは走ってむかえに行きました。

「お母さん、この間ぼくおこって、  
エリーゼのことでひどいことを言っ

てごめんなさい」と言いながら、しっか  
りとお母さんをだきしめました。

お母さんも「いいのよ」と言って、  
ダニエルをだきしめてくれました。「あ

なたがエリーゼを愛していることを  
知っているわ。自分がしたいことを

いともできなくて不公平だと思えるこ  
ともあるし、みんなにとってむずかしい

こともあるわね。でも、エリーゼが家  
族でいてくれるのは、みんなにとって

祝福よ。お母さん、知ってるわ。」

「エリーゼがいなくてさびしいよ」と  
ダニエルが言いました。

「わたしもよ。お医者さんが、多分  
明日には退院できると言ってくださ

ったわ」とお母さんが教えてくれました。

2週間後、ダニエルとエリーゼは  
二人そろって初等協会に出席しました。

「みなさん、パートナーを見つけて、  
輪になりましょう」と初等協会の会長

が言いました。

人生が不公平だと  
感じる時

人生が不公平に思えるとき、イライラ  
したり、心配になったりします。以下に挙  
げるのは、そのような気持ちと付き合う  
のに、良い方法です。

- 自分の気持ちを文章に書いたり、  
絵にかいたりする。
- 大好きなことをする。外で遊んだ  
り、音楽を聞いたりする。
- うまくいっていることを書き出す。
- いのって、天のお父様に、自分の  
気持ちをお話する。もっと良い  
気持ちになるように、主に助けを  
求める。
- だれかに気持ちを伝える。

ダニエルは急いで前に行き、エ  
リーゼの車いすをにぎりました。

「エリーゼがぼくのパートナーです。」

ダニエルはクラスの先生に言いま  
した。ダニエルはエリーゼの車いすを

前におして行き、輪の中に入りました。

ダニエルがエリーゼをのぞきこむと、  
エリーゼがにっこりほほえんでくれたの

で、ダニエルもほほえみ返しました。

ダニエルは、エリーゼがまた家にも  
どって来られてよかったと思いまし

た。エリーゼの特別なお兄ちゃんに  
なりたいと思いました。■

このお話を書いた人はアメリカ合衆国オレゴン  
州に住んでいます。

イラスト/アリッサ・タレント



十二使徒定員会  
ダリン・H・  
オークス長老

# なぜ救い主の あがないは、 大切なのでしょうか

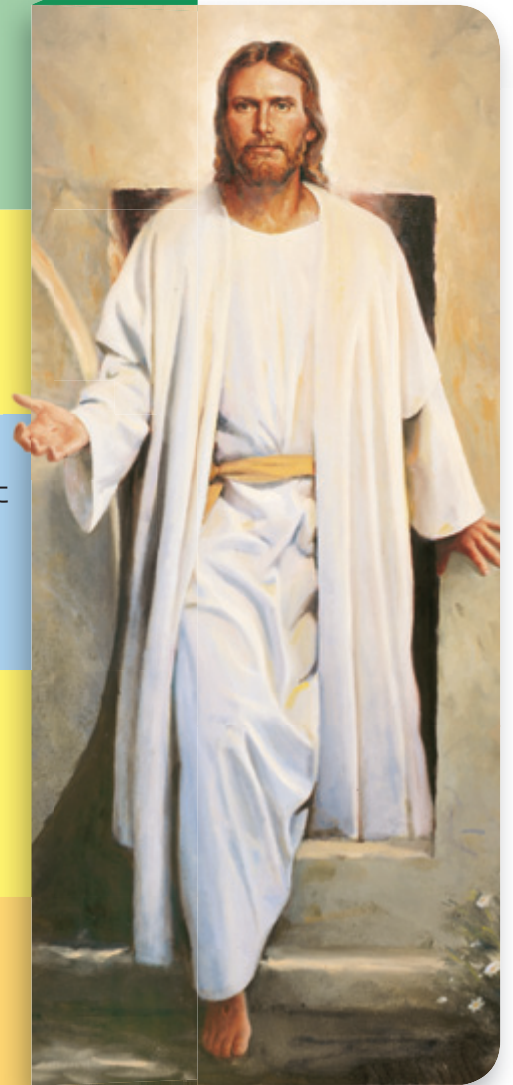
救い主のあがないによって  
復活がかのうになり、  
全ての人は死んだ後、  
もう一度生きることが  
できるようになりました。

そして、もしもくい改めるなら、  
罪から清められることが  
できるようにもなりました。

あがないの業の一部として、  
イエスは、わたしたちが悲しみ、苦しむときに  
わたしたちをどのように助ければよいかを  
知ることができるように、  
あらゆる種類の問題や課題を負って  
苦しんでくださいました。

イエスはわたしたちの  
いたみや苦しみを理解してくださり、  
わたしたちのために  
そこにいてくださるのです。

イエス・キリストは  
願ひ求める全ての人を助け、  
強めることができになります。



「イエス・キリストの贖罪により強められる」『リアホナ』2015年11月号、61 - 64 から



# わたしたちのページ



わたしは、  
家でも、学校でも、教会でも、  
周りの人を助けて、  
イエスのもはんに  
ならおうとしています。

わたしは  
友達の数と英語の勉強を  
助けてあげるのが好きです。  
両親と救い主にしたがう子供は、  
祝福を受けます。

ハナ・S, (写真をとったときは6才)  
(ナイジェリア)



わたしはいることが好きです。  
天のお父様とイエス・キリストが  
わたしたちを祝福してくださいと  
感じるからです。  
わたしはお二人が生きておられ、  
わたしたちを愛しておられると信じています。

わたしは家庭のタベと、  
両親と一緒に教会に行くことが好きです。  
神と御子について学ぶことができます。

オマール・V, (写真をとったときは7才)  
(エクアドル)



ぼくはもうすぐ12才になって、アロン神権を受けます。  
そうすると、神殿に入って先祖のためのバプテスマを受けることができます。  
ぼくはとてもうれしいです。

アベル・S, (絵をかいたときは11才) (ペルー)



アナタ・A, (絵をかいたときは9才)  
(ブラジル)



## あなたへの質問

「わたしのお兄さんは、軍隊に入っているの、わたしは見えなくてとてもさびしいです。どうすればお兄さんをもっと身近に感じることができるでしょうか。」

あなたの答えを [liahona.lds.org](http://liahona.lds.org) の Submit and Article をクリックしてオンラインで送るか、[liahona@ldschurch.org](mailto:liahona@ldschurch.org) に電子メールで送ってください。あなたの姓名、年齢、ステーク/地方部名、親の許可と一緒に送ってください。

# イエスはすべての人を愛しておられる

イエスは復活された後、ニーファイ人をおとずられました。せいさんについて教え、いのりの方法を示されました。親切で、平和を作り出す人になるようにお教えになりました。たくさんの方がいましたが、イエスはすべての子供たちを祝福され、病気の人全てをいやされました。ニーファイ人を愛しておられたので、かれらのために天のお父様にいのられました。



わたしは家族と一緒に  
まずしい子供たちを  
訪問して、おもちゃや  
食べ物をあげました。  
だれかを助けられたと  
知っているの、とても  
うれしいです。

リア・C, 7才  
(メキシコ, チワワ)



「わたしの手になりなさい」 ケイト・P, 11才 (アメリカ合衆国, ユタ州)



切って、折って、このチャレンジカードを持ち歩きましょう!



イエス

## わたしは愛ある人になれます!

- 3 ニーファイ 12:16 を暗記しましょう。
- 愛をしめすために、にこにこしたり、だきしめたり、短い手紙をわたしたりしましょう。
- 3 ニーファイ 12:1-9 を読んで、今月取り組むことのできる特質を選びましょう。
- わたしは \_\_\_\_\_ にチャレンジします。

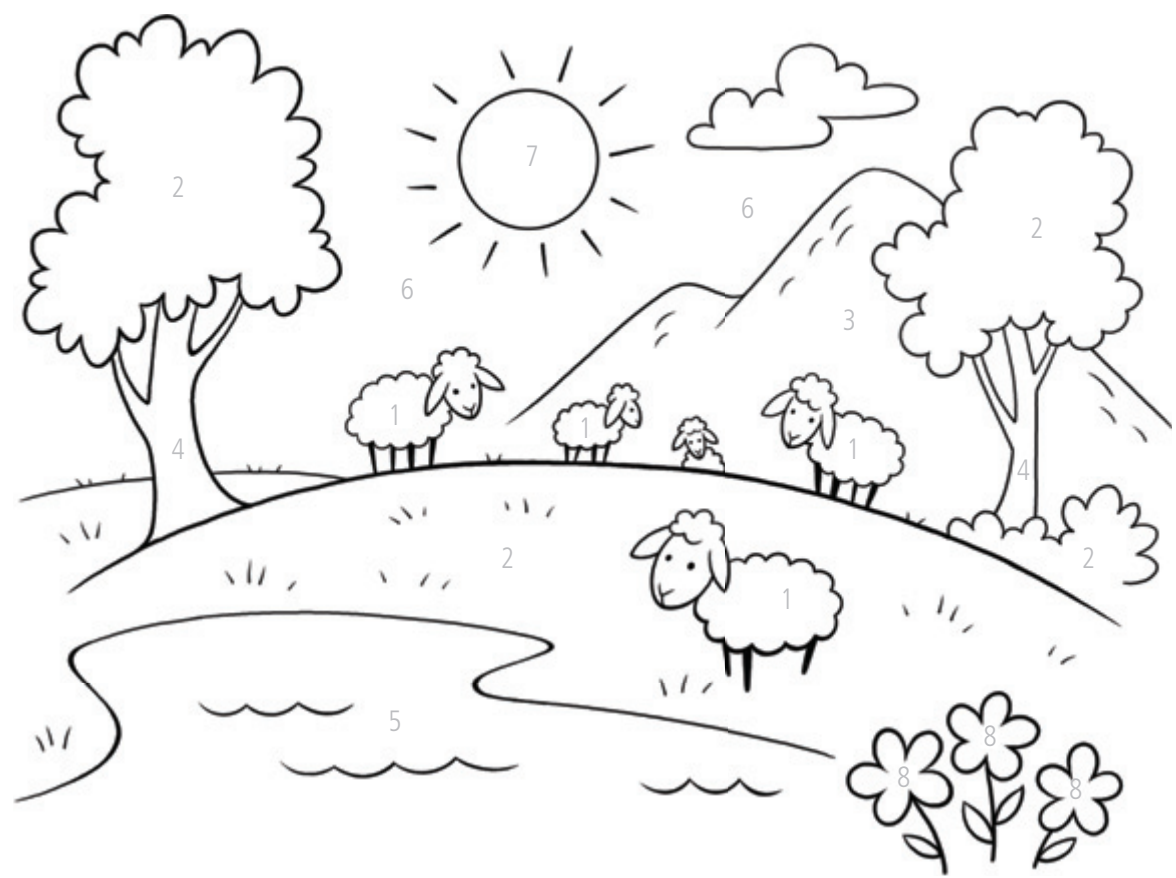


わたしはモルモン書を読むことができます

こんげつ せい く  
今月の聖句

せい く を 読ん だ ら、そ れ に 合 っ た 番 号 が つ い た 絵 の 部 分 に  
いろ 色 を め り ま し ょ う!

- 1 3 ニーファイ 12:1-9, 16      3 3 ニーファイ 13:6-8, 19-21      5 3 ニーファイ 18:19-21, 24      7 3 ニーファイ 19:11-26  
2 3 ニーファイ 12:19-20, 44, 48      4 3 ニーファイ 18:1-12      6 3 ニーファイ 18:35-39      8 3 ニーファイ 20:1, 29-31



右—イラスト/シェルド・ベックスランド、下—ニーファイ人の子供たちを祝福されるキリスト/テッド・ヘニング



た ひつじ  
他の羊

イエスがエルサレムで教えておられたとき、教えなければならない「他の羊」がいると人々に語られました(ヨハネ10:16参照)。イエスはニーファイ人や、他の土地の人々のことを語っておられたのでした。復活された後、イエスはニーファイ人をおとずれられ、教えをおあたえになりました。76-78ページに、イエスのおとずれについてもっと書かれています。読んでみましょう。来月の読書チャレンジも楽しみにしてください。■

# ニーフアイ人をおとずれられた イエス

イエスは  
地上に住んでおられたとき、  
病気の人やきずついた人を  
いやされました。  
人々にいのりの方法も  
お教えになりました。  
また、子供たちを  
祝福されました。



12人のしとをめされ、  
ご自分を覚えるようにと  
せいさんをおあたえになりました。  
その後、イエスはなくなられ、  
復活されました。





復活された後、イエスは海の向こうの地に住んでいた  
ニーファイ人をおとずれられました。

12人の弟子をめされ、  
神権をおさずけになりました。  
病気の人やきずついた人を  
いやされました。  
人々にいのりの方法も  
お教えになりました。  
みながひれふし、  
イエスを礼拝しました。







イエスはニーファイ人に、  
子供たちをご自分のもとに  
連れて来るように  
と言われました。

イエスはいのられ、  
子供たち一人一人を  
祝福されました。  
天使がかれら  
をおとずれました。

イエスはニーファイ人が  
ご自分をいつも覚えるようにと、  
せいさんをおあたえになりました。■





わたしは家族を  
助けることができます





第13代大管長  
エズラ・タフト・  
ベンソン大管長  
(1899 - 1994年)

## シオンの大きな つまずきの石

基本的に、高慢の本質は競争心です。

**高**慢は、ひどく誤った解釈をされている罪であり、多くの人が無意識のうちにこの罪を犯しています(モーサヤ3:11; 3ニーファイ6:18参照)。聖典には、義にかなった高慢というようなことを教えている箇所は一つもありません。高慢は常に罪とみなされています。……

高慢の中心を成すのは敵意、つまり、神と同胞<sup>ほらから</sup>に対する敵意です。敵意は「憎悪、敵対心、反抗」を意味します。サタンは、この力によってわたしたちを支配しようとします。

基本的に、高慢の本質は競争心です。自分の思いを神の御心<sup>みこころ</sup>と競わせるのです。高慢な心で神に向かうとき、そこには「御心ではなく自分の思いが成るように」という気持ちがあります。……

自分の思いを神の御心と競わせるようになると、欲望や欲求、激情を制御することができなくなります(アルマ38:12; 3ニーファイ12:30参照)。

高慢な人は、自分の生活に導きを与える神の権能を認めることができません(ヒラマン12:6参照)。自分流に真理を解釈して神の偉大な知識に挑み、自分の能力で神権の力に対抗し、自分の功績を神の力ある業と



競わせます。

……高慢な人は、神が自分の思いに合わせてくれればいいのと思います。神の御心に合わせて自分の考えを変えることなど念頭にありません。

どこにでも見受けられるこの高慢という罪には、もう一つ重大な要素があります。それは同胞に対する敵意です。わたしたちは、人よりも上に立ち、他の人をおとしめようとする誘惑に毎日直面しています(ヒラマン6:17; 教義と聖約58:41参照)。

高慢な人は、自分の知性、意見、仕事、財産、才能など、この世的な尺度をもって張り合い、全ての人を敵に回します。C・S・ルイスはこう書いています。「高慢な者は何かを所有しただけでは喜ばない。人より多く持って初めて喜ぶのである。……人を高慢にするのは比較である。すなわち、自分

は他の人たちよりも優れているという優越感である。競争心という要素がなくなれば、高慢もその姿を消すのである。」(Mere Christianity [1952年], 109 - 110)

高慢な人は、神の裁きよりも人の裁きを恐れます(教義と聖約3:6-7; 30:1-2; 60:2参照)。彼らには「神にどう思われるか」よりも、「人にどう思われるか」が重要なのです。……

高慢な思いに捕らわれると、世の人々の目と自分を切り離すことができなくなり、自由を手放して、人の判断に縛られるようになります。世の人々の声<sup>みなま</sup>が御霊のささやきよりもはるかに大きく鳴り響きます。そして、人の理論が神の啓示を押しつけ、高慢な人は鉄の棒から手を離してしまうのです(1ニーファイ8:19-28; 11:25; 15:23-24参照)。……

高慢はシオンの大きなつまずきの石です。もう一度言います。高慢は間違いなくシオンの大きなつまずきの石です。……

わたしたちは「聖なる御霊の勧めに従い」、「生まれながらの」高慢な人を捨て、「主なるキリストの贖罪<sup>しよくさい</sup>により……聖徒となり」、「子供のように従順で、柔和で、謙遜」にならなければなりません(モーサヤ3:19。アルマ13:28も参照)。■

「高ぶりを心せよ」『聖徒の道』1989年7月号、4-7より。句読点は標準的なものに改めました。



# 洞 察



## 父親の最も重要な務めとは何でしょうか

「父親として最も重要な務めは、自分の子供たちの心を天の御父に向けさせることでしょう。日々の生活の中で神に忠実であるとはどういうことかを、父親が模範と言葉によって示すことができれば、その父親は子供たちに、この世における平安と来るべき世における永遠の命の鍵を与えたことになります。」

# 今月号のその他の記事

## ヤングアダルト



### 中立地帯は存在しない

メディアがわたしたちに及ぼす影響

好むと好まざるとにかかわらず、メディアは何らかの形でわたしたちに影響を及ぼします。知恵を使って選択するのはわたしたち次第です。

44  
ページ

## 青少年

### なぜモルモン書 なのでしょう

58  
ページ

わたしは読む前からモルモン書に判断を下していました。でも、公正な目で見てみようと思いました。



## 子供



### ニーファイ人<sup>じん</sup>を おとずれた イエス

76  
ページ

子供たちに、救い主のニーファイ人へのおとずれがなぜ大切だったのかについて教えましょう。

末日聖徒  
イエス・キリスト  
教会

JAPANESE



4 02132 89300 8

13289 300